

音楽祭を盛り上げるため「モーツァルトさん」にも頑張ってもらいました。黒部市の国際交流員やALT(外国語指導助手)、そのお友達が喜んで仮装してくれました。それ以外に地元の方も多数ご協力くださいました。衣装は最初レンタルでしたが、後に裁縫が得意なスタッフが手作り。演奏者の中にも凝った衣装の方がたくさんいらっしゃいますね。ありがたいことです。



# 2016年コンサートガイド



場の賑わいを味わい音楽祭モーツァルト@宇野見園家 コンサートガイド

会場でのコンサートは毎時15分おきに行われます。お片付けにより、演奏会場や時間に変更が生じる場合があります。

15:30~	湯めぐり亭楽月	モーツァルトKleider (17/18/19/20)
16:00~	匠家	源藤浩人・五十嵐佳美 (17/18/19)
17:00~	朝陽寺	和楽器グループ アワーロード (18~19/20)

10:00~	セルネ1Fロビー	音楽教室でひらめく心〜0日 (17/18/19/20)
10:30~	湯めぐり亭楽月	女声コーラスグループ・ユタカレ (17/18/19)
10:30~	足湯めぐり亭	リリィ・シンカー (18/19/20)
10:30~	サン畑亭	武蔵音楽教室 (17/18)
11:00~	セルネ1Fロビー	ザガハトリレット (17/18)
11:00~	温泉噴水広場	宇高月中学校吹奏楽部 (17/18/19)
11:30~	まちこぼる	2016年温泉まつりイベント (17/18/19)
11:30~	宇高月温泉ホテル	川口アパレル(17/18) 音楽部 (17/18/19/20)
11:30~	ホテル後山	アンザブル・デュール (17/18/19/20)
12:00~	セルネ2Fキヤラー	蓮文 蘭 (18/19)
12:00~	温泉噴水広場	ドルチェ・リカー (18/19/20)
12:30~	セルネ3F小ホール	Reubik-K111 (18/19/20)
12:30~	湯めぐり亭楽月	宇高月中学校吹奏楽部 (18/19/20)
13:00~	セルネ1Fロビー	rdaveur (18/19/20)
13:00~	宇高月温泉ホテル	佐藤聖夢 (17/18)
13:30~	湯めぐり亭楽月	Andante Grazioso (17/18)
14:30~	クワンソウホテル楽部	アンザブル・デュール (17/18/19/20)
14:00~	セルネ1Fロビー	松田むねと梨子 (17/18)
14:00~	宇高月温泉ホテル	宇高月シンシスターズ (17/18/19/20)

10:00~	宇高月温泉ホテル	soil (18/19/20)
10:30~	セルネ1Fロビー	The MMO (17/18/19/20)
10:30~	足湯めぐり亭	ウチキ★フタナリ (17/18/19)
10:30~	湯めぐり亭楽月	梅井寛基 (17/18)
11:00~	朝陽寺(17/18/19)	Funakichi (17/18/19/20)
11:00~	温泉噴水広場	ピパ・サン (18/19)
11:00~	セルネ3F小ホール	温泉噴水広場 「モーツァルトの室内楽」 (17/18/19/20)
11:30~	温泉噴水広場	ワイド・ブラスアンザブル (17/18/19/20)
12:00~	湯めぐり亭楽月	Fluente (17/18)
12:30~	セルネ1Fロビー	コゼー・サン・マリア (17/18/19/20)
12:30~	ホテル後山	和話の壺 (17/18/19/20)

13:00~	宇高月温泉ホテル	Helena (18/19/20)
13:00~	足湯めぐり亭	ウチキ★フタナリ (18/19/20)
13:30~	セルネ1Fロビー	02はるかなつづろ (18/19/20)
13:30~	足湯めぐり亭	源藤浩人・五十嵐佳美 (18/19/20)
13:30~	宇高月温泉ホテル	二巻由希子・西田優子 (18/19/20)
13:30~	温泉噴水広場	ワイド・ブラスアンザブル (18/19/20)
14:00~	セルネ2Fキヤラー	Henrite (18/19)
14:00~	湯めぐり亭楽月	The MMO (18/19/20)
14:00~	ホテル後山	和話の壺 (18/19/20)
14:30~	温泉噴水広場	ウチキ★フタナリ (18/19/20)
14:30~	サン畑亭	響の華 (18/19/20)
14:30~	宇高月温泉ホテル	宇高月本管五重奏団 (18/19/20)
15:00~	セルネ3F小ホール	入道楽会合唱団
15:00~	まちこぼる	マンナ (18/19)

10:00~	セルネ1Fロビー	泉の壺 (17/18/19)
10:00~	セルネ3F小ホール	モーツァルトに敬意の献音と訂 CDコンサート (17/18/19)
10:00~	北藤新舞踏	ミラージュコンサート (17/18/19)
10:30~	ホテル後山	富士ワイルド山王子カナルテット (17/18/19)
11:00~	湯めぐり亭楽月	アンザブル・レルト (17/18/19)
11:30~	サン畑亭	オガカ まっぼの壺 (17/18/19)
11:30~	北藤新舞踏	ミラージュ コンサート (17/18/19)
12:00~	セルネ1Fロビー	MOTOHIRO (17/18/19)
12:00~	足湯めぐり亭	富士山地方吹奏楽楽団 (17/18/19)
12:30~	セルネ3F小ホール	アンザブル・レルト (17/18/19)
12:30~	湯めぐり亭楽月	ウチキ★フタナリ (17/18/19)
13:00~	やまびこ館	富士山カナルテット (17/18/19)
13:00~	宇高月温泉ホテル	黒部マンダリンアンザブル (17/18/19)

13:30~	湯めぐり亭楽月	MOTOHIRO (17/18/19)
13:30~	セルネ1Fロビー	富士ワイルド山王子カナルテット (17/18/19)
14:00~	温泉噴水広場	富士山地方吹奏楽楽団 (17/18/19)
14:30~	宇高月温泉ホテル	黒部マンダリンアンザブル (17/18/19)
14:30~	セルネ2Fキヤラー	ウチキ★フタナリ (17/18/19)
15:00~	宇高月温泉ホテル	山口裕佳理 (17/18)
15:30~	セルネ2Fキヤラー	2016年「サンジヨウ」 (17/18/19)
16:00~	朝陽寺	世代を超えたデュオ クハイクウ・北山康弘(小6) フルートニエ 久(72歳) (17/18/19)
16:30~	セルネ1Fロビー	梅井寛基 (17/18)
17:30~	セルネ3F小ホール	宇高月カナルテット (17/18/19)

10:00~	セルネ1Fロビー	響の華 (18/19/20)
10:00~	セルネ3F小ホール	宇高月本管五重奏団 (18/19/20)
10:30~	足湯めぐり亭	入道楽会合唱団 (18/19/20)
10:30~	湯めぐり亭楽月	マンナ (18/19)

13:00~	セルネ1Fロビー	響の華 (18/19/20)
13:00~	セルネ3F小ホール	宇高月本管五重奏団 (18/19/20)
13:00~	足湯めぐり亭	入道楽会合唱団 (18/19/20)
13:00~	湯めぐり亭楽月	マンナ (18/19)

9月17日(土) 温泉噴水広場(12:30~15:30)

9月18日(日) 温泉噴水広場(12:30~15:30)

## 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」ハイライト公演

指揮 横島勝人 台本 ダ・ポンテ鎬木 舞台美術協力 川邊晃史

ドン・ジョヴァンニ	門田 宇	ドン・オッターヴィオ／騎士長	近藤洋平
レポレツロ	菱田祐貴	マゼット	廣井健一
ドンナ・アンナ	安田裕美	ドンナ・エルヴィーラ	谷村清香
ツェルリーナ	加藤 恵	語り	野畑真寿美

## モーツァルトオーケストラ Selene

※=コンサートマスター/マンドリン独奏

	※ 藤崎真澄	市野 麗	牛山千史	奥村亜木	河西 格	榎 典子
ヴァイオリン	塚本澄子	羽田なつき	久岡めぐみ	堀江里佳	前島景子	宮田さみ子
	武者弘子	室野摩母衣	矢野実穂			
ヴィオラ	伊藤 亮	牛山正博	熊巳まどか	斉藤直志	中屋俊一	
チェロ	清田 盟	白井一也	菅田克彦	杉山 晃	室野 拓	
コントラバス	上石武志	平野千明	平澤一夫			
フルート	長田恵美子	柚木暁美				
オーボエ	佐藤 誠	島田理恵				
クラリネット	中川知之	山本 彬				
ファゴット	那須雅之	福山由美				
ホルン	阪上行人	禎田裕治				
トランペット	荒田 豊	佐藤 淳				
トロンボーン	大田昭男	大田和樹	熊木雅之			
ティンパニー	横山 睦					

## モーツァルトコア Selene

ソプラノ	石井京子	大河原紀子	角戸睦子	上條佳子	飯屋乃理子	近藤幸江
	篠塚貴子	龍野美奈	戸川知子	松崎和代	安川尚子	
アルト	伊藤香里	井藤紀子	宇佐見順子	馬野みどり	仲西智美	羽田成子
	藤川みえこ	吉松葉子				
テノール	伊東景治	上田洋一	八川 進	松倉正機	宮崎昌訓	
バス	福島 豊	米田隆太郎				

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団 公演

指揮	横島勝人	ソプラノ	加藤 恵
♪ 交響曲第40番 ト短調 K.550		メゾソプラノ	成田伊美
♪ レクイエム ニ短調 K.626		テノール	近藤洋平
		バリトン	門田 宇

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団

※=コンサートマスター

第1ヴァイオリン	※ 粟津 惇	宮本範子	石川 詩	稲垣祐香	川端 漱	田中 緑
	津久井清美	名執純子				
第2ヴァイオリン	青山英里香	朝木晴美	河原 毅	辻 久直	仲井美賀	沼田典子
	又場龍大					
ヴィオラ	扇 慎也	上田香奈恵	高田亮二	原 朝子		
チェロ	松井洋之	石井久美	朴谷 修			
コントラバス	大西 遼	金森大樹	中上桂一			
フルート	伊藤ひでみ					
オーボエ	北岡佳苗	保科浩一				
クラリネット	大西 菜	佐々木桂治				
ファゴット	篠崎秀一	永原千春				
ホルン	川添 等	坂井 禎				
トランペット	荒野晃代	松住一史				
トロンボーン	大田昭男	大田和樹	熊木雅之			
ティンパニー	塩田 惇					

## 宇奈月アマデウス祝祭合唱団

合唱指導 三井 香

ソプラノ	三井 香	大田ゆか子	川尻久美子	響田奈々子	澤田明梨	杉澤禎子
	寺島紀子	中島弘美	三井真弓	宮村美帆	村橋尚美	結城美喜子
アルト	太田美恵子	川戸る美子	鮫澤由加利	篠崎富美子	寸和京子	宝田優孝
	竹田由美	中田勝代	広川順子	松村美智代	森 律子	
テノール	伊東景治	上田洋一	大崎晴夫	太田紘子	八川 進	
	福田茂信	松倉正樹	松原英樹	宮崎昌訓	米澤憲二郎	
バス	島倉敏夫	広野 誠	藤井 実	三井適夫	米田幹雄	米田隆太郎

### 塚田尚吾と仲間たち コンサート

- ♪ ロンド ニ長調 K.485
- ♪ ピアノソナタ第14番 ハ短調 K.457
- ♪ ピアノソナタ第18番 ニ長調 K.576
- ♪ ピアノ四重奏曲第2番 変ホ長調 K.493

塚田尚吾 (ピアノ)      西尾安梨沙 (ヴァイオリン)  
米井遥香 (ヴィオラ)      河野明敏 (チェロ)

### 宇奈月カルテット コンサート

- ♪ ディヴェルティメント K.138
- ♪ 弦楽四重奏曲第19番 「不協和音」 K.465

宇奈月カルテット  
栗津 惇 (ヴァイオリン)      青山英里香 (ヴァイオリン)  
扇 慎也 (ヴィオラ)      松井洋之 (チェロ)



上・下 スペシャルコンサート

上・下 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」

北陸新幹線開業1周年記念

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団スプリングコンサート

指揮 横島勝人

<第一部> W.A.モーツァルト

♪ ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調 K.216より 第1楽章

ヴァイオリン独奏 粟津 惇

♪ 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」 K.527より “手を取り合って”

♪ 歌劇「魔笛」 K.620より “パパパの二重唱”

ソプラノ独唱

加藤 恵

バリトン独唱

門田 宇

♪ アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618

♪ ピアノ協奏曲第20番 ニ短調 K.466より 第1楽章

ピアノ独奏 間部栄司

<第二部> W.A.モーツァルト

♪ 交響曲第38番「ブラハ」ニ長調 K.504

第1楽章 Adagio—Allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Presto

<第三部> ロジャース&ハマースタインⅡ

♪ サウンド・オブ・ミュージック セレクション

1.序曲

2.サウンド・オブ・ミュージック

3.ド・レ・ミの歌

4.私のお気に入り

5.さようなら、ごきげんよう

6.すべての山に登れ

7.エーデルワイス

8.フィナーレ

ソプラノ独唱

安田裕美

バリトン独唱

門田 宇

ココロ合唱隊



北陸新幹線開業1周年記念

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団スプリングコンサート

指揮 横島勝人

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団

※=コンサートマスター

第1ヴァイオリン	※ 栗津 惇 名執純子	宮本範子	阿閉博美	石川 静	稲垣祐香	田中 緑
第2ヴァイオリン	青山英里香 野末愛美	河原 毅	高野祐花	仲井美賀	沼田典子	又場龍大
ヴィオラ	扇 慎也	中 秀晃	原 朝子	藤井優哉		
チェロ	松井洋之	新町栄一	館野祥子	西谷英輔	朴谷 修	山下瑤子
コントラバス	藤島晃彦	大西 遼	柳橋禎子			
フルート	伊藤ひでみ	摺出寺敬子				
オーボエ	北岡 明	保科浩一				
クラリネット	大田昌子	大西 栞				
ファゴット	岡田健太	篠崎秀一				
ホルン	川添 等	坂井 禎	花房奈央子			
トランペット	荒野晃代	古井清紀	古井未佳			
トロンボーン	大田昭男	大田和樹	熊木雅之			
パーカッション	塩田 惇	片山康太郎				

## 宇奈月アマデウス祝祭合唱団

合唱指導 三井 香

ソプラノ	三井 香 杉澤禎子	飯田舞子 寸和京子	川戸る美子 中島弘美	響田奈々子 三井真弓	澤田明梨 結城美喜子
アルト	中田勝代 広川順子	篠崎富美子 森 律子	宝田優孝	竹田由美	寺島紀子
テノール	石塚兼治 田中哲彦 宮崎昌訓	石塚修一 八川 進 米澤憲二郎	伊東景治 福田茂信	上田洋一 松倉正機	大崎晴夫 松原英樹
バス	飯田憲司	大森崇督	島倉敏夫	藤井 実	米田幹雄
ココロ合唱隊	合唱指導	古川鶴美	大森洲季		
	明谷幸音 高野愛弓 古川香湖	泉 葉月 中田茉莉 湊屋知加	越 千帆実 中坪綾香 湊屋朋永	澤田陽花 橋本かなで 村瀬いずみ	澤田淳良 藤原玉絃 山口奈津美



山口裕佳理(宇奈月国際ホテル)



「うなづき温泉つばつベキズ」(まちこゆる)



富大フィル山王子カルテット(ホテル桃源)



「fleurire」(湯めどころ宇奈月)



「rêveur」による演奏(セレネ・ロビー)



富山地方鉄道吹奏楽団(足湯くろなぎ)



「Roudoku-K.111」による朗読とピアノの公演  
(セレネ・小ホール)



夜のロビーコンサート 宇奈月カルテット  
(宇奈月杉乃井ホテル)



ジェイド・ブラスアンサンブル 道用裕志

10周年おめでとうございます。我々ジェイド・ブラスアンサンブルは、「モーツァルトを金管五重奏で」というコンセプトの下、和のザルツブルクで、いつも気持ちよく演奏させていただいております。そして、いつも思うのは、「モーツァルトは奥が深い」ということです。特に金管楽器でモーツァルトをそれなりに「らしく」演奏するのは至難の業です。ですので、参加するたびにメンバーは「また頑張ろうね」と、気持ちを新たに宇奈月の地を去ることが多いです。これからも本音楽祭が20年、30年と続く取組であってほしいと願っています。



fleurire (フルーリール) 六田亜由美

私たちフルートのトリオ「fleurire」がモーツァルト音楽祭に初めて参加したのは第2回目からで、初めての演奏曲は「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」ト長調K.525でした。その後「フルートとハープのための協奏曲」ハ長調K.299や「きらきら星変奏曲」ハ長調K.265他色々な作品を演奏。これまで7回音楽祭に出演させて頂きました。一番の思い出は「モーツァルトさん」がドイツ語でお歌を歌うコラボレーション演奏ができたことです。私たちは、観客・運営スタッフ・出演者のみんなが楽しめるこの優しい音楽祭が大好きで、これからも参加したいと思っています。



おもちゃばこキネン合奏団 金谷完二

10周年記念おめでとうございます。宇奈月モーツァルト音楽祭に参加して貴温泉を何度も訪問しているうちに、モーツァルトの音楽を通して“宇奈月温泉の溪谷”と“ザルツブルクの景観”が重なるようになりました。愛知県から大型バスで大人45名の参加は、温泉に浸かっての楽しい「音楽遠征」です。「モーツァルト」一色の温泉街は素敵です。興じて、当時の服装、カツラを似せてまともい、モーツァルトに成り切った演奏が許される、唯一の「音楽会」に感謝です！

# 2017年コンサートガイド

9月17日(日)	
14:30~	セルネIFホール ① グランド・プラス・アンサンブル (12名) / 12/20/2017
15:00~	EXPOホール ② ライアー・スタジオ・オーケストラ (12名) / 12/20/2017
15:00~	セルネIFホール ③ マジカ・フォーレ (10名) / 12/20/2017
16:30~	セルネIFホール ④ おもちゃばにキネン委員会 (10名) / 12/20/2017
16:30~	新徳寺 ⑤ フーゴ (10名) / 12/20/2017
16:30~	セルネIFホール ⑥ 和洋の会 (フーゴ・キネン・10) (10名) / 12/20/2017
16:30~	セルネIFホール ⑦ プレカード (10名) / 12/20/2017
16:30~	セルネIFホール ⑧ 松田わか美親子 (10名/10)
16:30~	まかこ館 ⑨ うなぐら温泉まつりバロック (10名/10)
17:00~	宇奈月クラシックホール ⑩ 二本松市少年合唱団 (10名/10)
19:30~	宇奈月クラシックホール ⑪ 宇奈月カルテット (10名/10)

9月18日(祝)	
10:00~	セルネIFホール ① 杉本真子 (10名)
10:00~	セルネIFホール ② 鶴岡婦人フレンド・グループ (10名/10)
10:30~	湯めぐり亭 ③ モリノリ・グループ (10名)
10:30~	新徳寺 ④ ピピヤン (10名)
11:00~	新徳寺 ⑤ オカリナクラブ (10名)
11:00~	宇奈月クラシックホール ⑥ アマデウス弦楽四重奏団 (10名)
11:30~	セルネIFホール ⑦ ザットトリオット (10名)
11:30~	湯めぐり亭 ⑧ トリチェ・リカー (10名)
11:30~	サン徳寺 ⑨ 武蔵音楽教室 (10名)
11:30~	延寿寺 ⑩ 安藤園子 (10名)
12:00~	セルネIFホール ⑪ おもちゃばにキネン委員会 (10名)
12:00~	湯めぐり亭 ⑫ 黒川市立少年合唱団 (10名)
12:00~	宇奈月クラシックホール ⑬ 杉本真子 (10名)
13:00~	湯めぐり亭 ⑭ Isabelle (10名)
13:00~	セルネIFホール ⑮ 安藤園子 (10名)
13:30~	宇奈月クラシックホール ⑯ Andante Grazioso (10名)
14:00~	宇奈月音楽ホール ⑰ 山口裕佳理 (10名)
14:30~	五葉 ⑱ Isabelle (10名)
19:30~	宇奈月クラシックホール ⑲ 宇奈月カルテット (10名)

9月17日(日)	
10:00~	セルネIFホール ① MOTOHITO (12名/10)
10:30~	延寿寺 ② 増井重葉 (12名)
10:30~	セルネIFホール ③ モーツァルト・キッズ・コンサート (12名)
11:00~	セルネIFホール ④ Café M (12名/10)
11:00~	湯めぐり亭 ⑤ ピチ★ファミリー (12名)
11:00~	宇奈月クラシックホール ⑥ Trio MMD (12名/10)
11:30~	延寿寺 ⑦ MOTOHITO (12名/10)
11:30~	宇奈月クラシックホール ⑧ アムン・カルテット (12名)
11:30~	宇奈月クラシックホール ⑨ モーツァルト・カラオケ (12名)
12:00~	湯めぐり亭 ⑩ 演奏者・五十嵐佳美 (12名)
12:00~	宇奈月クラシックホール ⑪ Izumi doke fantasia (12名)
12:00~	湯めぐり亭 ⑫ 昔卜色 (12名)
12:30~	セルネIFホール ⑬ Trio MMD (12名/10)
12:30~	宇奈月クラシックホール ⑭ Andante Grazioso (12名)
12:30~	宇奈月クラシックホール ⑮ アンソニオ・カサス・五重奏団 (12名)
12:30~	セルネIFホール ⑯ 宇奈月少年合唱団 (12名)
13:00~	足湯おもけ ⑰ ピチ★ファミリー (12名)
13:00~	湯めぐり亭 ⑱ Duo M&M (12名)
13:00~	足湯くまね ⑲ グランド・プラス・アンサンブル (12名)
13:00~	セルネIFホール ⑳ アムン・カルテット・高山 (12名)
13:30~	湯めぐり亭 ㉑ Café M (12名)
13:30~	宇奈月クラシックホール ㉒ エンゼル・サン・高山 (12名)
13:30~	サン徳寺 ㉓ 電の響 (12名)
13:30~	宇奈月クラシックホール ㉔ 昔卜色 (12名)
13:30~	セルネIFホール ㉕ Trio Flowers (12名)
13:45~	湯めぐり亭 ㉖ 演奏者・五十嵐佳美 (12名)
14:00~	セルネIFホール ㉗ 入音混声合唱団 (12名)
14:30~	宇奈月クラシックホール ㉘ 和場ゆき (12名)
14:30~	宇奈月クラシックホール ㉙ アムン・カルテット・高山 (12名)
14:30~	湯めぐり亭 ㉚ 演奏者・五十嵐佳美 (12名)

9月16日(土)	
13:30~	市アール劇場 ① 黒部マンドリンアンサンブル (12名)
14:00~	セルネIFホール ② L'Automne (12名)
14:00~	宇奈月音楽ホール ③ 飯沼親子合唱団 (12名)
14:30~	EXPOホール ④ アンサンブル・ブーレ (12名)
14:30~	宇奈月音楽ホール ⑤ 高山市・エストニア (12名)
15:00~	湯めぐり亭 ⑥ 演奏者・五十嵐佳美 (12名)
15:00~	セルネIFホール ⑦ Duo M&M (12名)
15:00~	足湯くまね ⑧ ピチ★ファミリー (12名)
15:30~	湯めぐり亭 ⑨ 増井重葉 (12名)
16:00~	新徳寺 ⑩ 和場ゆき (12名)
16:00~	セルネIFホール ⑪ ピチ★ファミリー (12名)
16:30~	宇奈月クラシックホール ⑫ L'Automne (12名)
19:30~	宇奈月クラシックホール ⑬ 湯めぐり亭 ⑭ 三重奏 (12名)

9月16日(土)	
10:00~	セルネIFホール ① 東郷の会 (12名)
10:00~	セルネIFホール ② モーツァルト・キッズ・コンサート (12名)
10:30~	湯めぐり亭 ③ アンサンブル・ルナ (12名)
11:00~	北徳銀行 ④ アンサンブル・ブーレ (12名)
11:30~	延寿寺 ⑤ 山口裕佳理 (12名)
11:30~	宇奈月音楽ホール ⑥ 野々の会 (12名)
11:30~	セルネIFホール ⑦ 五十嵐佳美 (12名)
12:00~	湯めぐり亭 ⑧ 黒川マンドリンアンサンブル (12名)
12:00~	サン徳寺 ⑨ オカリナ・ほのぼのの会 (12名)
12:30~	セルネIFホール ⑩ アンサンブル・ブーレ (12名)
13:00~	湯めぐり亭 ⑪ 黒川市立少年合唱団 (12名)
13:00~	宇奈月音楽ホール ⑫ アンサンブル・ブーレ (12名)
13:00~	宇奈月クラシックホール ⑬ ほのぼのの会 (12名)
13:30~	湯めぐり亭 ⑭ ピチ★ファミリー (12名)

9月16日(土)	
13:30~	市アール劇場 ① 黒部マンドリンアンサンブル (12名)
14:00~	セルネIFホール ② L'Automne (12名)
14:00~	宇奈月音楽ホール ③ 飯沼親子合唱団 (12名)
14:30~	EXPOホール ④ アンサンブル・ブーレ (12名)
14:30~	宇奈月音楽ホール ⑤ 高山市・エストニア (12名)
15:00~	湯めぐり亭 ⑥ 演奏者・五十嵐佳美 (12名)
15:00~	セルネIFホール ⑦ Duo M&M (12名)
15:00~	足湯くまね ⑧ ピチ★ファミリー (12名)
15:30~	湯めぐり亭 ⑨ 増井重葉 (12名)
16:00~	新徳寺 ⑩ 和場ゆき (12名)
16:00~	セルネIFホール ⑪ ピチ★ファミリー (12名)
16:30~	宇奈月クラシックホール ⑫ L'Automne (12名)
19:30~	宇奈月クラシックホール ⑬ 湯めぐり亭 ⑭ 三重奏 (12名)



9月16日(土)	
10:00~	セルネIFホール ① 東郷の会 (12名)
10:00~	セルネIFホール ② モーツァルト・キッズ・コンサート (12名)
10:30~	湯めぐり亭 ③ アンサンブル・ルナ (12名)
11:00~	北徳銀行 ④ アンサンブル・ブーレ (12名)
11:30~	延寿寺 ⑤ 山口裕佳理 (12名)
11:30~	宇奈月音楽ホール ⑥ 野々の会 (12名)
11:30~	セルネIFホール ⑦ 五十嵐佳美 (12名)
12:00~	湯めぐり亭 ⑧ 黒川マンドリンアンサンブル (12名)
12:00~	サン徳寺 ⑨ オカリナ・ほのぼのの会 (12名)
12:30~	セルネIFホール ⑩ アンサンブル・ブーレ (12名)
13:00~	湯めぐり亭 ⑪ 黒川市立少年合唱団 (12名)
13:00~	宇奈月音楽ホール ⑫ アンサンブル・ブーレ (12名)
13:00~	宇奈月クラシックホール ⑬ ほのぼのの会 (12名)
13:30~	湯めぐり亭 ⑭ ピチ★ファミリー (12名)

9月16日(土)	
13:30~	市アール劇場 ① 黒部マンドリンアンサンブル (12名)
14:00~	セルネIFホール ② L'Automne (12名)
14:00~	宇奈月音楽ホール ③ 飯沼親子合唱団 (12名)
14:30~	EXPOホール ④ アンサンブル・ブーレ (12名)
14:30~	宇奈月音楽ホール ⑤ 高山市・エストニア (12名)
15:00~	湯めぐり亭 ⑥ 演奏者・五十嵐佳美 (12名)
15:00~	セルネIFホール ⑦ Duo M&M (12名)
15:00~	足湯くまね ⑧ ピチ★ファミリー (12名)
15:30~	湯めぐり亭 ⑨ 増井重葉 (12名)
16:00~	新徳寺 ⑩ 和場ゆき (12名)
16:00~	セルネIFホール ⑪ ピチ★ファミリー (12名)
16:30~	宇奈月クラシックホール ⑫ L'Automne (12名)
19:30~	宇奈月クラシックホール ⑬ 湯めぐり亭 ⑭ 三重奏 (12名)

## 歌劇「フィガロの結婚」ハイライト公演

指揮	横島勝人	台本	ダ・ポンテ 鎬木	舞台美術協力	柏井裕香子
	フィガロ	佐々木開基		スザンナ	谷村清香
	アルマヴィーヴァ伯爵	門田 宇		伯爵夫人ロジーナ	安田裕美
	ケルビーノ	加藤 恵		ドン・バジリーオ(音楽教師)	近藤洋平
	マルチェリーナ(女中頭)	飯田悠佳		ドン・バルトロ(医者)	廣井健一
				語り	野畑真寿美

## モーツァルトオーケストラ Selene ※=コンサートマスター

	※ 藤崎真澄	牛山孝介	牛山千史	奥村亜木	河西 格	樫 典子
ヴァイオリン	塚本澄子	富原 朗	富原聖子	羽田なつき	久岡めぐみ	堀江里佳
	前島景子	丸山晃佐	武者弘子	室野摩母衣	矢野実穂	
ヴィオラ	牛山正博	伊藤 亮	斉藤直志	中屋俊一		
チェロ	室野 拓	清田 盟	高井康博			
コントラバス	平野千明	石井冬樹	平澤一夫			
フルート	長田恵美子	柚木暁美				
オーボエ	佐藤 誠	島田理恵				
クラリネット	中川知之	山本 彬				
ファゴット	那須雅之	福山由美				
ホルン	阪上行人	福田裕治				
トランペット	荒田 豊	佐藤 淳				
ティンパニー	横山 睦					

## モーツァルトコーア Selene

ソプラノ	石井京子	大河原紀子	角戸睦子	上條佳子	仮屋乃理子	近藤幸江
	齊藤香代子	篠塚貴子	龍野美奈	戸川知子	安川尚子	
アルト	伊藤香里	井藤紀子	宇佐見順子	馬野みどり	土肥 翠	仲西智美
	羽田成子	吉松葉子				
テノール	石川幹夫	伊東景治	上田洋一	大崎晴夫	松倉正樹	松原英樹
	宮崎昌訓					
バス	三井適夫	湊 千洋	米田幹雄			

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団 公演

指揮 横島勝人

ソプラノ 安田裕美

メゾソプラノ 金澤桃子

♪ 交響曲第36番「リンツ」ハ長調 K.425

テノール 近藤洋平

♪ レクイエム ニ短調 K.626

バリトン 門田 宇

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団

※=コンサートマスター

第1ヴァイオリン ※粟津 惇 宮本範子 上野雅弘 田中 緑 津久井清美 名執純子

第2ヴァイオリン 青山英里香 河原 毅 辻 久直 沼田典子 又場龍大 原 朝子

ヴィオラ 扇 慎也 上田香奈恵 上野真弓 松島真二郎

チェロ 松井洋之 舘野祥子 朴谷 修 堀田五月

コントラバス 石川 綾 藤島晃彦

フルート 伊藤ひでみ

オーボエ 古田祥子 保科浩一

クラリネット 大田昌子 古川友紀

ファゴット 篠崎秀一 永原千春

ホルン 川添 等 坂井 禎

トランペット 荒野晃代 古井清紀

トロンボーン 大田昭男 大田和樹 熊木雅之

ティンパニー 塩田 惇

## 宇奈月アマデウス祝祭合唱団

合唱指導 三井 香 練習ピアニスト 間部栄司

ソプラノ 三井 香 大田ゆか子 音頭万里子 川尻久美子 澤田明梨 杉澤禎子  
寺島紀子 中島弘美 藤川由香 三井真弓 村橋尚美 結城美喜子アルト 太田美恵子 川戸る美子 鮫澤由加利 篠崎富美子 宝田優孝 竹田由美  
道用悦子 中田勝代 広川順子 松村美智代 森 律子テノール 石川幹夫 伊東景治 上田洋一 大崎晴夫 太田紘子 八川 進  
松倉正機 松原英樹 宮崎昌訓 米澤憲二郎

バス 島倉敏夫 広野 誠 藤井 実 三井適夫 湊 千洋 米田幹雄

### ピアノと弦楽による三重奏

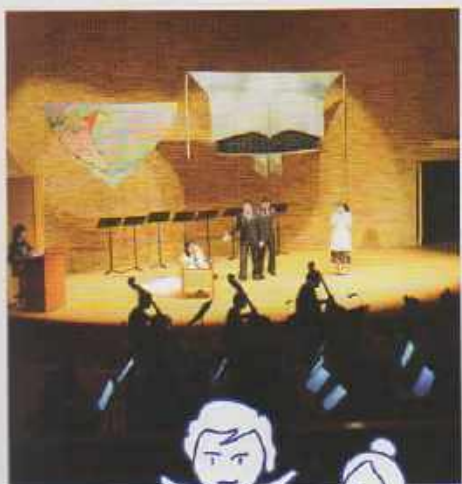
- ♪ ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564
- ♪ ピアノ三重奏曲 変ロ長調 K.502

渋谷優花 (ヴァイオリン)  
富田 祥 (チェロ)  
戸島園恵 (ピアノ)

### 宇奈月カルテット コンサート

- ♪ 弦楽四重奏曲第4番 ハ長調 K.157
- ♪ 弦楽四重奏曲第15番 二短調 K.421

宇奈月カルテット  
粟津 惇 (ヴァイオリン) 青山英里香 (ヴァイオリン)  
扇 慎也 (ヴィオラ) 松井洋之 (チェロ)



上・下 歌劇「フィガロの結婚」



上・下 スペシャルコンサート



「ライアースタジオ・オーロラ」による  
ライアールハーブの演奏(うなジオ)



長野県人と富山県人の合唱グループ「ビバ・サン」(延対寺荘)



「ピカ子★フェアリー」(足湯おもかげ)



「和玲の会」による箏、フルート、キーボードの演奏(延楽)



「音ト色」による箏とピアノの演奏  
(湯めどころ宇奈月)



「バッハアンサンブル富山」による合唱(宇奈月グランドホテル)



遊びが大好きだったモーツァルトにちなんで  
参加無料のゲームコーナーを設置  
(セレネ・4階ロビー)



夜のロビーコンサート ピアノと弦楽による三重奏  
(宇奈月グランドホテル)



ピカ子★フェラーリ ながのたかこ

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。この音楽祭に関わる皆様に感謝しかありません。新潟に行く途中のSAで宇奈月モーツァルト音楽祭のチラシを見た時に何か感じるものがあり、大阪に帰ってから逡巡して出演を申し込みました。5年前のことです。それから宇奈月はいつもわたしを温かく迎えてくれる場所になりました。セレネでのチェックインの時に毎回笑顔で迎えてくださり、ありがとうございます。そしてこのご縁を繋いでくれた音楽の神様に感謝しています。音楽祭の後は温泉、深い山々、清流、宮崎海岸など毎回楽しみです。またお会いできる日を楽しみにしています。

和玲の会 川越妙子

音楽祭10周年おめでとうございます。和玲の会は第2回から参加しています。音楽祭の特色であるモーツァルトの曲だけというのは、和玲の会の楽器編成上(箏・フルート・キーボード)どこまで編曲して良いものか迷うことが有ります。それは、モーツァルトの音楽性を理解している質の高い観客が多いので、編曲しすぎるとモーツァルトらしくないと思われるのではないかと躊躇してしまうのです。しかしながら参加を継続しているのは、宇奈月の自然と手作り感溢れる一期一会の機会に魅力を感じるからです。スタッフの皆様に感謝を申し上げます。



Trio MMO vn.久岡めぐみ va.牛山千史 fl.長田恵美子

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。モーツァルトの名の下に出会い、2014年に結成し活動を始めたTrio MMOは、2015年から街かどコンサートに、2016年からは「モーツァルト・オーケストラ・セレネ」のメンバーとしてもオープニングオペラに毎年参加させていただいています。毎回、緊張しつつも充実した演奏の機会をいただき、とても楽しんでいます。これからもこの音楽祭と共に、楽しい音楽を多くの人々と共有していくことができましたら幸いです。





## 歌劇「魔笛」ハイライト公演

指揮	横島勝人	台本	シカネーダー 鏑木		
		演出・舞台協力	トムスタジオ 加藤 徹 加藤與志子		
		コレペティートル	奥田知絵 新村真理 星野いずみ		
ザラストロ	中村大志	タミーノ	近藤洋平	パミーナ	安田裕美
パパゲーノ	門田 宇	パパゲーナ	谷口琴音	夜の女王	加藤 恵
侍女1	安藤園子	侍女2	松本佐智子	侍女3	飯田悠佳
モノスタス	久田 潤	童子1	森下 泉	童子2	谷村清香
童子3	松本清香	武士&僧侶1	植松 洋	武士&僧侶2	廣井健一
				語り	野畑真寿美

## モーツァルトオーケストラ Selene ※=コンサートマスター

	※藤崎真澄	牛山孝介	牛山千史	奥村亜木	河西 格	樫 典子
ヴァイオリン	塚本澄子	羽田なつき	久岡めぐみ	堀江里佳	前島景子	丸山晃佐
	宮田さみ子	武者弘子	室野摩母衣	矢野実穂		
ヴィオラ	牛山正博	伊藤 亮	斉藤直志	高橋美穂奈	中屋俊一	
チェロ	室野 拓	清田 盟	高井康博	寺澤克義		
コントラバス	平野千明	平澤一夫	松本広治			
フルート	長田恵美子	柚木暁美				
オーボエ	佐藤 誠	島田理恵				
クラリネット	中川知之	山本 彬				
ファゴット	那須雅之	福山由美				
ホルン	阪上行人	福田裕治				
トランペット	佐藤 淳	横川 憲				
トロンボーン	荻布 彦	石川真一	石坂匡史			
ティンパニー	横山 睦					

## モーツァルトコア Selene

ソプラノ	石井京子	大河原紀子	角戸睦子	上條佳子	仮屋乃理子	近藤幸江
	龍野美奈	戸川知子	安川尚子			
アルト	伊藤香里	井藤紀子	宇佐見順子	篠塚貴子	仲西智美	羽田成子
	藤田豊子	吉松葉子				
テノール	大崎晴夫	宮崎昌訓				
バス	岩下義明	高橋 充	福島 豊	松原英樹		

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団 公演

指揮 横島勝人

ヴァイオリン独奏 渋谷優花

♪ 歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」序曲 K.588

ソプラノ 森下 泉

♪ ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219 「トルコ風」

メゾソプラノ 成田伊美

♪ レクイエム ニ短調 K.626

テノール 近藤洋平

バリトン 門田 宇

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団 ※=コンサートマスター

第1ヴァイオリン ※栗津 惇 宮本範子 上野雅弘 田中 緑 津久井清美 名執純子  
久岡めぐみ

第2ヴァイオリン 青山英里香 石川 静 河原 毅 沼田典子 又場龍大 原 朝子

ヴィオラ 扇 慎也 上田香奈恵 上野真弓 高田亮二 本多祐樹

チェロ 松井洋之 朴谷 修 年代拓夢 山下瑤子

コントラバス 石川 綾 藤島晃彦

フルート 伊藤ひでみ 長田恵美子

オーボエ 北岡 明 保科浩一

クラリネット 佐々木桂治 住吉有紀子

ファゴット 篠崎秀一 永原千春

ホルン 川添 等 坂井 禎

トランペット 荒野晃代 南 昌樹

トロンボーン 大田昭男 大田和樹 長倉久喜

ティンパニー 塩田 惇 野替亜紀子

## 宇奈月アマデウス祝祭合唱団 合唱指導 三井 香 練習ピアニスト 間部栄司

ソプラノ 三井 香 大田ゆか子 音頭万里子 川尻久美子 響田奈々子 杉澤禎子  
寺島紀子 中島弘美 三井真弓 村椿尚美 結城美喜子

アルト 太田美恵子 川戸る美子 鮫澤由加利 篠崎富美子 寸和京子 竹田由美  
道用悦子 中田勝代 花岡光子 松村美智代 森 律子

テノール 石川幹夫 伊東景治 上田洋一 大崎晴夫 太田紘子 鷹田利治  
八川 進 松倉正機 松原英樹 宮崎昌訓 米澤憲二郎

バス 大森崇督 鍛冶哲郎 島倉敏夫 藤井 実 三井適夫 湊 千洋  
米田幹雄

### 塚田尚吾ピアノリサイタル

♪ ピアノソナタ第4番 変ホ長調 K.282

♪ ピアノソナタ ヘ長調 KV.547a(Anh135)より 第1楽章 アレグロ

♪ デュポールのメヌエットの主題による9つの変奏曲 ニ長調 K.573

塚田尚吾 (ピアノ)

### 宇奈月カルテット コンサート

♪ アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章

♪ 弦楽四重奏曲第8番 ヘ長調 K.168

♪ 弦楽四重奏曲第16番 変ホ長調 K.428

宇奈月カルテット

栗津 惇 (ヴァイオリン)

青山英里香 (ヴァイオリン)

扇 慎也 (ヴィオラ)

松井洋之 (チェロ)



歌劇「魔笛」より(セレネ・大ホール)



「富山ホルニステン」によるホルンの演奏  
(北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅)



オカリナ ぼっほの会(サン柳亭)



富山高専本郷キャンパス ピアノ部  
(宇奈月グランドホテル)



「美桐会」による箏の演奏(樹徳寺)



ソプラノ独唱: 森 更、ピアノ: 中沖いくこ(セレネ・ロビー)



Andante Grazioso(湯めどころ宇奈月)



ソプラノ: 柳谷 都、ピアノ: 山辺裕子(セレネ・ロビー)

音楽祭以外の活動です。2016年4月24日にスプリングコンサート(会場 コラーレ)を開催したほか、「カーター記念 黒部名水マラソン」のスタートファンファーレや前夜祭での演奏を行っています。

- ① 2016年5月29日 金管ファンファーレ演奏
- ② 2017年6月14日 金管ファンファーレ演奏
- ③ 2018年5月27日 金管ファンファーレ演奏
- ④ 2019年5月26日 金管ファンファーレ演奏

2020年は新型コロナウイルスのため中止



ファンファーレは、黒部市歌をアレンジしたものです。また、演奏会では、北陸新幹線・黒部宇奈月温泉駅の発車メロディ「煌～水の都から～」を金管楽器むけに編曲して演奏しています。

2017年からは、黒部市中央公民館の「市民大学講座」におけるコンサートも担当しています。

- ① 2017年3月19日 アンサンブルコンサート
- ② 2018年3月11日 アンサンブルコンサート
- ③ 2019年3月17日 アンサンブルコンサート

2020年は新型コロナウイルスのため延期



入場は無料で、毎年100名以上の方にお越しいただいています。弦楽四重奏や木管五重奏など、いろいろなスタイルでお届けし、演奏曲もモーツァルトに限らず、演歌や流行の音楽など、親しみやすい曲をまじえています。

# 2019年コンサートガイド

10:00~		10:30~		11:00~		11:30~		12:00~		12:30~		13:00~		13:30~		14:00~		14:30~		15:00~		15:30~	
モノクロ	宇高月満つベツベツ	原田伸二	宇高月満つベツベツ	山形明子	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	

11:00~		11:30~		12:00~		12:30~		13:00~		13:30~		14:00~		14:30~		15:00~		15:30~		16:00~		16:30~	
宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	宇高月満つベツベツ	



9月14日(土)		9月15日(日)		9月15日(日)	
13:00~	宇高月満つベツベツ	10:00~	宇高月満つベツベツ	10:00~	宇高月満つベツベツ
13:30~	宇高月満つベツベツ	10:30~	宇高月満つベツベツ	10:30~	宇高月満つベツベツ
14:00~	宇高月満つベツベツ	11:00~	宇高月満つベツベツ	11:00~	宇高月満つベツベツ
14:30~	宇高月満つベツベツ	11:30~	宇高月満つベツベツ	11:30~	宇高月満つベツベツ
15:00~	宇高月満つベツベツ	12:00~	宇高月満つベツベツ	12:00~	宇高月満つベツベツ

9月14日(土)		9月15日(日)		9月15日(日)	
13:00~	宇高月満つベツベツ	10:00~	宇高月満つベツベツ	10:00~	宇高月満つベツベツ
13:30~	宇高月満つベツベツ	10:30~	宇高月満つベツベツ	10:30~	宇高月満つベツベツ
14:00~	宇高月満つベツベツ	11:00~	宇高月満つベツベツ	11:00~	宇高月満つベツベツ
14:30~	宇高月満つベツベツ	11:30~	宇高月満つベツベツ	11:30~	宇高月満つベツベツ
15:00~	宇高月満つベツベツ	12:00~	宇高月満つベツベツ	12:00~	宇高月満つベツベツ

## 歌劇「コシ・ファン・トゥツテ」ハイライト公演

指揮 横島勝人  
 演出・舞台協力 トムスタジオ 加藤 徹 加藤與志子  
 コレペティートル 奥田千絵 内田陽子  
 フィオルディリージ 加藤 恵 安田裕美 ドン・アルフォンソ 門田 宇  
 ドラベッラ 森下 泉 浜田智美 田中美紀 フェルランド 辰巳陽彦 植松 洋  
 デスピーーナ 谷村清香 谷口琴音 グリエルモ 廣井健一  
 語り 野畑真寿美  
 セリフ 劇団フロンティア 森 隆俊 尾崎俊太郎 鮫澤祐二

## モーツァルトオーケストラ Selene ※=コンサートマスター

※ 藤崎真澄 牛山孝介 牛山千史 奥村亜木 河西 格 椋 典子  
 ヴァイオリン 塚本澄子 羽田なつき 久岡めぐみ 堀江里佳 前島景子 丸山晃佐  
 宮本範子 武者弘子 室野摩母衣 矢野実穂  
 ヴィオラ 伊藤 亮 斉藤直志 高橋美穂奈 中屋俊一  
 チェロ 清田 盟 高井康博 寺澤克義 室野 拓  
 コントラバス 平澤一夫 平野千明 松本広治  
 フルート 長田恵美子 柚木暁美  
 オーボエ 佐藤 誠 島田理恵  
 クラリネット 斉藤英之 中川知之  
 ファゴット 那須雅之 福山由美  
 ホルン 阪上行人 福田裕治  
 トランペット 佐藤 淳 横川 憲  
 ティンパニー 横山 睦

## モーツァルトコーア Selene

ソプラノ 石井京子 大河原紀子 角戸睦子 上條佳子 飯屋乃理子 黒岩美知子  
 近藤幸江 龍野美奈 戸川知子 安川尚子 山内郁子  
 アルト 伊藤香里 井藤紀子 篠塚貴子 仲西智美 羽田成子 藤田豊子  
 吉松葉子  
 テノール 伊東景治 大崎晴夫 鷹田利治 宮崎昌訓  
 バス 岩下義明 高橋 充 福島 豊 松原英樹 鍛冶哲郎 米田幹雄

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団 公演

指揮 横島勝人

ソプラノ 田中美紀

メゾソプラノ 成田伊美

♪ レクイエム ニ短調 K.626

テノール 近藤洋平

バリトン 門田 宇

## 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団 ※=コンサートマスター

第1ヴァイオリン ※ 粟津 惇 宮本範子 田中 緑 津久井清美 名執純子 久岡めぐみ

第2ヴァイオリン 青山英里香 河原 毅 辻 久直 沼田典子 又場龍大

ヴィオラ 扇 慎也 河原千佳子 高田亮二 原 朝子

チェロ 西牧佳奈子 朴谷 修 堀田五月 山下瑤子

コントラバス 石川 綾 藤島晃彦

クラリネット 佐々木桂治 住吉有紀子

ファゴット 永原千春 永原秀樹

トランペット 高本晃代 古井清紀

トロンボーン 大田昭男 大田和樹 長倉久喜

ティンパニー 塩田 侑

## 宇奈月アマデウス祝祭合唱団 合唱指揮 三井 香 練習ピアニスト 間部栄司

ソプラノ 三井 香 大田ゆか子 音頭万里子 川尻久美子 寺島紀子 中島弘美  
藤川由香 三井真弓 宮村美帆 村椿尚美 結城美喜子アルト 伊藤ひでみ 太田美恵子 鉸澤由加利 篠崎富美子 宝田優孝 竹田由美  
中田勝代 花岡光子 広川順子 松村美智代 森 律子 森内正巳テノール 石川幹夫 伊東景治 上田洋一 大崎晴夫 鷹田利治 八川 進  
松倉正機 松原英樹 宮崎昌訓 米澤憲二郎バス 鍛冶哲郎 小西由郎 島倉敏夫 広田新伍 藤井 実 三井適夫  
湊 千洋 米田幹雄



## 音楽祭10周年記念

## 澤武紀行&amp;宇奈月カルテット ジョイントコンサート

- ♪ アイネ・クライネ・ナハトムジークより 第1楽章
- ♪ 歌劇「イドメネオ」 アルパーチェ レチターティーヴォとアリア  
『不幸なシドンよ〜クレタの神々よ、そこに書かれているのなら』
- ♪ 弦楽四重奏曲第9番 イ長調 K.169  
♪ 『クローエに寄せて』『タベの想い』  
休 憩
- ♪ 『すみれ』『静けさは微笑み』
- ♪ 弦楽四重奏曲第17番 変口長調 K.458 「狩」
- ♪ 歌劇「魔笛」 タミーノ 『なんと美しい絵姿よ!』
- 澤武紀行 (テノール)  
竹内佳代 (ピアノ)  
宇奈月カルテット  
栗津 惇 (ヴァイオリン)  
青山英里香 (ヴァイオリン)  
扇 慎也 (ヴィオラ)  
西牧佳奈子 (チェロ)

- ♪ Misera, dove son! - Ah, non son io che parlo  
〜あわれ、ここははずこ! ああ、語るは我ならず〜
- ♪ Un moto di gioia. 私の胸は喜びに躍る  
♪ Alma grande e nobile core. 偉大な魂と高貴な心
- ♪ An Chloe クローエへ
- ♪ 歌劇「皇帝ティートの慈悲」より S'altro che lagrime 涙以外のことを  
♪ 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より Crudel? Ah no, mio bene! ... Non mi dir, bell'idol mio  
酷いですって! いいえ…そんなことはおっしゃらないで下さい、愛しい人よ
- ♪ 歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」より  
Un'aura amorosa ~愛の輝き~  
Tradito, schernito ~裏切られ、嘲られ~
- ♪ 歌劇「フィガロの結婚」より  
Se vuol ballare Signor Contino ~お殿様 ダンスなら~  
Non più andrai ~もう飛ぶまいぞこの蝶々~  
Aprite un po' quegli'occhi ~男たるものは~
- 松本佐智子 (ソプラノ)  
江端玲子 (ピアノ)  
松崎加代子 (ソプラノ)  
星野いずみ (ピアノ)  
松本清香 (ソプラノ)  
小川麻衣 (ピアノ)  
近藤洋平 (テノール)  
星野いずみ (ピアノ)  
黒田雄一郎 (バリトン)  
星野いずみ (ピアノ)

音楽祭アルバム  
2019年

第10回音楽祭 9月14日(土)～9月16日(月・祝)

出演者数 602名(68組) 総観客数 6,380名 演奏会場 18箇所



宇奈月中学校吹奏楽部(湯めどころ宇奈月)



Trio MMO + Tera(セレネ・ギャラリー)



「アンサンブルFigaro」による木管五重奏(樹徳寺)



篤見曜子&藤原幹子(セレネ・ロビー)



「Öden-Solisten」による木管八重奏  
(湯めどころ宇奈月)



「若莖道場」によるモーツァルトの音楽にあわせた演武  
(宇奈月グランドホテル)



「おとなるアンサンブル」による弦楽五重奏  
(樹徳寺)



「コンセール・サンティ富山」による弦楽四重奏(セレネ・ギャラリー)



音楽祭10周年特別企画 澤武紀行 & 宇奈月カルテットによるジョイントコンサート(セレネ・大ホール)



音楽祭10周年特別企画  
古澤巖ヴァイオリンソロ(セレネ・小ホール)



オペラガラコンサート(セレネ・小ホール)



「吉田俊介 & 清水史津」によるヴァイオリンとピアノのコンサート  
(宇奈月グランドホテル)



モーツァルトキッズコンサート (セレネ・小ホール)  
音楽祭芸術監督の横島勝人が司会進行をつとめ  
プロを目指す子供から、かわいいいちびっこまで、音楽  
祭で活躍する子供たちにスポットをあてたコンサート



## それはモーツァルト米から始まった

音楽祭実行委員 松島一郎

モーツァルト生誕250年を翌年に控えた2005年、ラジオミューの音楽番組に出演の機会を得ました。正直、それまでクラシック音楽にはあまり興味がなかったのですが、この出演を契機に長い歴史のあるクラシック音楽の魅力に取りつかれました。この時、番組の司会者だった武藤憲夫先生から、特にモーツァルトの曲は乳牛や酒造りに聴かせると美味しくなる効果があるとの話を聞きました。

丁度その頃、父から引き継いだコメ作りに取り組むなかで、いっその事、育苗中の苗にモーツァルトの曲を聴かせたらどんなお米が出来るだろうかと遊び心で始めてみました。その結果、思っていた以上にお米に旨味があり、音楽の持つ不思議な力に驚いたのを今もはっきりと覚えています。

同じ頃、ザルツブルグと似ているという宇奈月温泉で音楽祭を開催しようという計画が持ち上がっていました。そしてメンバーの懇親会の席上で、モーツァルトを聴かせて出来たお米を「モーツァルト米」と名付け、おにぎりにして音楽祭の会場で提供すれば黒部の知名度もアップするのではないかという提案が出されました。こうして思いがけない発想で準備を始めたことが今に続いているのだと懐かしく、また嬉しく思います。

あれから10年、今では『大自然のシンフォニー・文化交流のまち黒部』のキャッチフレーズに相応しいイベントになったことを大へん誇りに思います。



## 温泉街がモーツァルトで包まれる

音楽祭実行委員 能登恭子

「宇奈月にはモーツァルトが似合う」と、市民の手作りで始まった音楽祭です。指揮者の横島勝人先生の賛同を得てプロ、アマチュアを問わずモーツァルトを愛する演奏家が宇奈月に集まり、室内、街かど、温泉宿で演奏が行われる、その一端のお手伝いをさせていただきました。そんな中で繋がる人々との出会い、より音楽の深さを楽しませていただきました。音楽でつなぐ大きな力はすばらしい事です。

## これって…モーツァルトの宣伝ですよね！？

音楽祭実行委員 大橋 朋子

温泉街に秋の風が吹き始める頃、私たち実行委員会(仮装部員)に中村さんからの招集がかかります。彼の絵コンテに従い、繰り広げられる地元ケーブルテレビの撮影とは…。

モーツァルトを中心におサルや白馬、ゲゲゲの鬼太郎ファミリーやブルゾンちえみ等が入り乱れ…ロケ地は、某旅館の特別室から温泉街、やまびこ橋、大原台の野外にも及ぶかと思えば、セレネ大ホールの幻の特設スケートリンクでも… そう！ 現場はまさに中村さんの思うがまま…！！ 存分に操られる私たち…撮影を終えた頃には、音楽祭への士気は、いやが応にも高まるのでありました。

歴代どれもよくできていたと思うのですが、自分的に名シーンをあげるとすれば、モーツァルト米で作ったおにぎり(←かぶりもの)がモーツァルト仕込みのうどんを食べているというもの。炭水化物が炭水化物を食べているというとってもシュールな光景でした。



## 実現していない企画

音楽祭実行委員 石川 幹夫

音楽祭を始めるにあたって、実行委員から沢山のアイデアが出された。その中で自分としては目から鱗のアイデアで、いまだに実現に至ってない企画案がある。それはある女性から出されたピアノ企画。「廃棄直前のピアノを調律して宇奈月公園に設置し、いろいろな人にモーツァルトの曲を演奏してもらう」「雨が降ってもそのまま演奏してもらう」というもの。ピアノは常に屋内にあって大切に保管されるべきという概念を打ち破るアイデアで、私は驚くと同時に是非実行したいと思ったが、実現しなかった。すでに音楽祭は10回を超えたが、いまのコロナ禍にあつてさらなる脱皮を期す意味でも実現してみたい企画だと思っている。



## 宇奈月モーツァルト音楽祭の思い出

音楽祭実行委員 伊東景治

実行委員としてこの音楽祭に毎年関わってきましたが、1番の思い出は音楽祭の打上げパーティの司会を大橋朋子さんと毎回担当し、皆さんと楽しく過ごしたことです。2番目は、2014年秋、第一生命日比谷本社ギャラリーで、「国際モーツァルト財団展 モーツァルトコレクション&コンサート《250年の響き》」が開催されているとの情報を得て急ぎよ上京し、横島先生と参加したことです。目的は展示品の鑑賞と財団関係者に宇奈月モーツァルト



音楽祭をPRすること。モーツァルトがウィーン時代に使っていたヴァイオリンによるフランク・シュタラー氏(モーツァルト管弦楽団のコンマス)のソナタ3曲の演奏を聴き感動しました。

その後、財団関係者に面会し、高田真生(ピアニスト)さんの通訳で、写真やパンフレットを使い音楽祭の説明をしました。関係者が(見た瞬間の驚き)と、関心を示してくれたことが強く印象に残っています。財団所蔵のレプリカの貸出し等で協力可能とのことでした。この時痛感した「ザルツブルク訪問の夢」が、2019年の秋に実現しました。この経験から、私の知らない音楽祭の魅力が宇奈月のあちこちにまだ転がっているのではと考え、次回以降も様々な演奏に接したいと思っています。



上:モーツァルトが使っていたヴァイオリン 下:財団関係者、モーツァルト財団博物館長(左端)と

## 音楽祭と私

音楽祭実行委員 松倉正機

10周年の節目を迎えた宇奈月モーツァルト音楽祭には、スタートした平成22年から欠かさずセレネを中心にお手伝いをさせて頂いています。

私が実行委員会の一員として活動を続けている理由は、この音楽祭が始まる発端となった横島勝人先生を交えたラーメン屋での飲み会とそこでの議論に私自身も参加していたことと、何よりもモーツァルトの音楽を色々な楽器で、生で、しかも身近で聴けることに心躍らせるものがあったからだと思います。

一方、音楽祭のメインコンサート「レクイエム」の合唱団に6年前から参加したため、街かどなどの演奏を聴く機会が少しばかり失われたのは残念でしたが、昨年リハーサルの合間を縫って初めて「やまびこ橋」でのホルン演奏会を聴きに行ってきました。山の緑と眼下に広がる黒部川の清流を見下ろしながらのホルン合奏に大いなる感動を覚えたものでした。

この経験から、私の知らない音楽祭の魅力が宇奈月のあちこちにまだ転がっているのではと考え、次回以降も様々な演奏に接したいと思っています。



## 人生の大きな喜び

音楽祭実行委員 中瀬真知子

音楽祭に参加を決めた時は、ただ好きというだけで音符も読めないし不安でしたが、思いきってモーツァルト音楽祭実行委員会に飛び込んだことを思い出します。そんな中、モーツァルトの衣装を担当したり、モーツァルトグッズの雑貨作りをしました。思い出深いのは、モーツァルトのトルコ行進曲に合わせた空手の演武に取り組んだことです。

こんなにも貴重な経験ができ、素敵なお方々と出会えたことは人生の大きな喜びです。委員会の皆様に心から感謝いたします。



## 音楽がつなげる夢

音楽祭実行委員 鮫澤祐二

ヨーロッパの観光地に行くと広場や街角で楽器が演奏され、観光客が、つかの間の生の音楽に足を止

め、共通の感情を笑顔や拍手で表現します。言語の違いという途轍もない大きな壁はこの時、無くなります。まさしく芸術の力です。モーツァルト音楽祭にも、そんな個人的なささやかな希望で参加してきました。振り返れば、あっという間の10年でした。横島勝人先生の一言「宇奈月にはモーツァルトが似合う！」で黒部市の私たちの小さな夢が実現できたわけです。今後は、より若い人たちと一緒に楽しみたいものです。



## モーツァルト音楽祭10周年を迎えて

音楽祭実行委員 広報誌「モツとも」担当 鷲見隆久

たまたま寄った喫茶店モーツァルトで、ヴァイオリンの演奏を聞き、音楽祭を知って、「これは面白い。ボランティアのお手伝いをしたい」と申し出たら、いつの間にか、実行委員を仰せつかり、右も左もわからず、理解するために会議に毎回出席していたら、広報誌を担当することとなり、出演者に会って記事を書いていたら、そこからお友達がどんどん増えていき、生きがいになっています。黒部の人たちの「自発的に何でもやってみよう」という参加意識の高さがここまで支えてきたように思います。音楽文化とともにこの気風もつないでいきたいものだと思います。



## 黒部川はモーツァルトを奏でる

音楽祭実行委員 本村雅宏

黒部川でフライフィッシングを楽しむ。峡谷を抜ける光や風、季節毎の香りが釣りに彩りを与える。川は眠らないと開高健が言ったように、想像できない昔からこの水音は絶えることがない。これが一様ではない。同じ流れはひとつとしてない。場所ごとの響きがあり、それはまた単純でありながら奥行きをもち、自由で多彩に謳うのだ。

黒部川はモーツァルトを奏でる。そう思いついた。空前にして絶後の音楽家の融通無碍がこの川に似合う。時々、空を見

上げると、世界のほとんどの風景はモーツァルトによって描かれていたのかもしれないと思う。フライはしばしばディベルティメントの旋律のように流れ、イワナを呼び寄せ。そう思っていたところへ、宇奈月温泉で音楽祭をやると聞く。

山懐に抱かれた温泉街で、イーハトーブ音楽祭ができないか。ホテルや旅館、街かどを使つてのストリートコンサート。街全体をイーハトーブに見立てて、宮沢賢治の「星めぐりの歌」さえ入れてもらったら何を演奏してもいい。プロアマなく、上手下手なく、黒部川の瀬音と湯の音に重ねて音楽でつながり合おう。ずっと前に思っていたことだ。それをモーツァルトでやろうという話らしい。感じていたことと考えていたことがつながった。音楽については素人だが、僕にもできることがあるだろう。



会合に参加して、いたずらでモーツァルトの肖像を書いた。ちょっと生意気で巻髪さえついていればそう見えるだろう。いい加減なものだ。これが、今も音楽祭のマークに使われるアマデウナツキン。後にフィギュアもつくり、それを原型にした人形がザルツブルクへ2度旅をする。雪のカーニバルの雪像にもなり、コンテストで2度入賞する。

宣伝の費用がないので、ネットを使う。Twitterが普及し始めた頃だった。PVをつくるというのでプロットを書く。宇奈月の各所で弦楽カルテットの演奏をつなぐ。まだ音楽祭の風景さえ生まれていなかった。サイトを立ち上げ、Facebookでページをつくる。何かが動いている、そう感じさせる動作が必要だった。

僕には、自分の中にあつた感じ方と考え方をかたちにしていく作業だった。

音楽祭の歴史的な最初の演奏は、早朝のお寺。フルートのお勤め。多くの人がこの音楽祭の風景に気づくのは、地鉄の宇奈月温泉駅前の温泉噴水広場。ドレスを身にまとった美しいお姉さんたちの木管カルテット。観光バスが行き交う脇で、モーツァルトが流れる。どんな風景が生まれていくのか、多くの人気がついた。

小さな一滴が山々が生む水を集めて大きな流れになっていくように、この小さな風景がモーツァルトを1本の糸に、まるで黒部川がそうであるように、豊かに清冽に、時には激しく優しく穏やかに狂おしく流れ響き合う。まだ、10年である。繰り返そう。川は眠らない。







### 10周年を振り返って

音楽祭実行委員 中谷京子

この10年間を振り返って一番感じたことは宇奈月温泉が一年を通して音楽祭の期間中が一番賑わって活気があった事だと思います。私達スタッフは準備から当日迄大変でしたが、その大変さもモーツァルトの素敵な音楽を聴きながら疲れも忘れ、楽しくボランティアができました。このように出演者、スタッフ、お客さんが一体となって楽しめる音楽祭、私はこれに関わらせていただいて本当に良かったと思います。



### 音楽祭のプロモーション動画

音楽祭実行委員 又場龍大

印象に残っていることとして、音楽祭のプロモーションビデオ制作に携わらせていただいたことがございます。宇奈月の様々な場所で演奏し編集していただいた動画をホームページで見ると、その時の暑さと、音楽祭が始まっていくことへのわくわくした気持ちが今でも思い出されます。あれから早や10年、おめでとうございます。



モーツァルト顔出しパネル



演奏に集中した表情と、演奏を終えて 沢田保奈美さん(2011年)



### なくてはならない音楽祭

音楽祭実行委員 田中 緑

10周年おめでとうございます。モーツァルト音楽祭では、アマデウス祝祭管弦楽団や、街かどでの演奏に参加し、楽しく演奏させていただいていました。平成30年に実行委員に加わり、発足当初から携わっていらっしゃる皆さんと一緒に大好きなモーツァルト音楽祭の運営に携わることができ、大変嬉しく思います。

10年間、たくさんのご苦勞があったかと思いますが、モーツァルト音楽祭は地域に根付き、愛される、黒部市にはなくてはならないイベントだと感じます。末永く続くよう、これからも微力ながらお手伝いしたいと思いますので、引き続きよろしく願い申し上げます。



## 宇奈月にはモーツァルトの音楽がよく似合う！

音楽祭実行委員 河田嘉代子

サルも聞きに集まる峡谷に響くホルン協奏曲。癒しの音楽と言われるモーツァルトの曲。それを聞かせたお米のおにぎり、お酒、ビール、うどん、バナナも販売しました。会場の設営ではホテルの重いテーブルやイスの移動からMCも。グッズを作ったりさらにはみらーれTVの告知用に事務局のセレネ中村さん企画演出で仮装やドラマ仕立てで出演。演奏者や聞きに訪れた方々とのお喋りも楽しい思い出です。目指すはプロの演奏が街角に流れ、アマチュアの方々も大ホールで演奏できる、皆がモーツァルトを楽しめる音楽祭です。



## 『日本のザルツブルク』宇奈月温泉へようこそ

音楽祭実行委員 能勢 実

初代実行委員長を引き受け、まず飯田さんや中村さんたちセレネのスタッフに相談したら温かく応援してくれました。とはいえ、受けたはいいが、予算も資金も無いので無謀な船出となり不安でした。当時全く無名の音楽祭を何とかして多くの人々に認知してもらい、有名にしたい、町おこししたいとマスメディアにいた友人や知人たちを頼りに相談しに行ったのが懐かしいです。

皆、誰も知らない「モーツァルト音楽祭」を快く温かく迎えてくれました。これは面白いユニークで素敵な町おこしと言って、全面協力するからやりましょうと背中を押してくださいました。NHKの三條雅幸アナ、田中泉アナ、またKNBの横山哲夫社長、上野透アナをはじめとした民放各社、地元の新聞社の松井公一記者やラジオミューの齋藤規さん、みらーれTVも多大な協力をしてくださいました。そのおかげで、無名だった音楽祭は広く知られるようになりました。

そして、長年にわたり地元のいろいろな人々や企業各社、商店全ての人々の温かい志しや協力、協賛をいただき、ここに10周年を迎えることが出来ましたことに心より深く感謝申し上げます。この音楽祭はみんなが楽しめる、本当に心の奇跡です。



音楽祭では、地元の新聞記事やケーブルテレビの地域のイベント紹介番組、ホームページやSNSなど、お金のからない方法で広報を行ってきました。それぞれ工夫をこらし楽しみながら実施しています。



左 音楽祭が始める前に、音楽祭のイメージ映像として撮影し、現在もYouTubeでご覧いただける動画です(音楽祭HPのトップページからもご覧いただけます)。ダム湖畔や橋の展望台、旅館の宴会場など、宇奈月らしい場所で撮影しました。出演は富山シティフィルハーモニー管弦楽団さん。暑い中大変おつかれさまでした。



他人がいても気にしない  
むしろ宣伝になると喜ぶ

右 地元のケーブルテレビ「みらいTV」で音楽祭の告知をしていただけということで、仮装して撮影にのぞみました。  
出演する実行委員はもちろん、カメラマンさんもノリノリで、楽しい内容になりました。



「あなたはこのウナツケン王国の  
後継者なんですかね」

以後、ほぼ毎年「みらいTV」で音楽祭の告知を行っています。最初は仮装して音楽祭を紹介するだけでしたが、次第に演技仕立てになり、時間も長く場面転換も多くなって、たくさんテロップまでつけてもらいました(左の写真参照)。改めてカメラマンさん(編集さん)はよくやってくださったな〜と感謝しています。楽しいですよいつも言っていただきましたが、大変だったろうなあ。  
その多大なご協力にあらためてお礼申し上げます。

これまでの内容は…夢でモーツァルトに会う話、ある王国の王子がモーツァルトの音楽を演奏する姫にひかれる話、おサル軍団がやってきた話…などなど。右の写真は、人を操る音楽で街を支配しようとするブラックモーツァルトをこらしめる鬼太郎一行です。  
衣装、小道具も全部自分たちで用意。演技もお互いに指導したりして(みんな多才)。いろんな人たちの協力があって成り立った宣伝。楽しかったです。



白馬も大活躍。また馬の  
人が上手なのです

## 10周年記念訪欧の旅

音楽祭実行委員 鷺見隆久

いつのころからか、モーツァルト音楽祭に携わるメンバーの中から「10周年を迎えたらモーツァルトの生誕地、オーストリアを訪れよう」という話が起っていた。まだ音楽祭が数回しか開かれていないころからである。そのころは「そんなに長く続くだろうか」という疑念もあったが、いつの間にか、10回目を迎えてしまっていた。いざ、募集してみると、全額自費での旅行にもかかわらず、コーラスメンバーや実行委員及びその家族など団体旅行を組めるぎりぎりの16名が参加を表明した。

第10回の音楽祭も無事終了した10月26日、富山空港に全員集合していざ出発。羽田空港、ミュンヘンを経由して飛ぶこと約20時間、やっとオーストリアのウィーンに夜に到着した。



翌朝の天気はすっきりと快晴。日本時間の午後ということもあり、また、朝は早いお方ばかりなので、ホテルの近郊を散策する方々がたくさんおられ、「どこまで歩いて行った」ということを自慢げに話す会話を朝食は盛り上がった。朝食後はツアーバスに乗りウィーン市内を車窓から眺めながら郊外へと移動してシェーンブルン宮殿へ。ここはハプスブルグ家700年の栄華と繁栄

の象徴ともいべき宮殿で、その豪華さはフランスのベルサイユ宮殿に勝るとも劣らない立派なものである。それもそのはず、ベルサイユ宮殿はオーストリアのハプスブルグ家から嫁いだマリーアントワネットがこのシェーンブルン宮殿に似せて建てたものだというのだからシェーンブルン宮殿が先を行っているのである。宮殿内は彫刻絵画家具調度品すべてが驚くようなものばかり。そしてある部屋の絵画にはモーツァルトが幼少時代にここで演奏をしたときのものがある。そこでのモーツァルトの演奏に賛辞を示した幼きマリーアントワネットに幼きモーツァルトが求婚したと言われるモーツァルトらしいエピソードが聞かれた。広大な敷地には動物園もありパンダもいるそうで、しかも、昔から市民に開放しているというから、当時から王家の市民を大事にする姿勢がうかがわれる。

シェーンブルン宮殿でハプスブルグ家の豪華な歴史と文化を堪能した後はウィーン市街へくりだして、車の乗り入れが規制されているリンクと言う歩行者天国のような街を散策。国立オペラ座を横目に見ながら町の中心部のシュテファン寺院へと向かう。そのすぐそばにウィーンのモーツァルト・ハウスがある。モーツァルトが1784年から1787年まで住んだところで資料館となっている。モーツァルトがここで「フィガロの結婚」を作曲した場所である。じっくり

鑑賞した後、昼食となり、オーストリア名物のシュニッツエルを味わう。ワインでほろ酔い加減の後には自由行動に移り、博物館、美術館などをめぐるグループなどに分かれた。早めの夕食の後には、国立オペラ座に行くグループと楽友協会コンサートを聴くグループに分かれて本場の音楽を堪能した。

翌日はツアーバスでウィーンからザルツブルグへ向かう。あいにくの小雨模様であるがそれがまた紅葉と緑の草原のヨーロッパの景色をしっとりつつんでくれて、また風情のあるものとなった。

ザルツブルグに到着して最初に訪れたのは、ミラベル庭園。丘の上にホーエンザルツブルグ城を望む美しい庭園で、映画「サウンド・オブ・ミュージック」の撮影舞台となった場所でもある。ドレミの階段から銅像までたくさん堪能して、その足でモーツァルトが17歳の時に住んだ家へ移動して観光。近くにはベートーベン、カラヤン、ドブラーなど有名人にゆかりの場所が軒を並べておりゆっくり観光したいところでもあるが、時間の関係で街中心部へ移動してショッピング街を事前調査などしてホテルへもどった。



翌日は本来の旅行の目的の一つであるモーツァルテウムへの訪問である。モーツァルテウムは、なんと、昨日行ったミラベル庭園のすぐそばにあり、静かで大変良い環境の中にあつた。モーツァルテウム財団最高経営責任者トビアス・デブーフ氏や事務官に一行16名が会議室に案内されて、そこで宇奈月モーツァルト音楽

祭のビデオを上映しながら活動を紹介し、大野黒部市長からの親書を手渡して交流を深めた。また、ここでは、現在モーツァルテウム大学ピアノソリスト課程で学んでいる、モーツァルト音楽祭に参加してくれた若きピアニストの塚田尚吾氏も合流してもらった。

一通りの準公式訪問も終了して、午後はザルツブルグ市街の散策及びお土産探しに一行は街中に消えていった。

今回の旅行を通して、オーストリアという国の歴史文化に触れ、モーツァルトが生まれ育った環境をじかに見てさらに理解が進んだように思う。まさに百聞は一見に如かずである。

一行もこのツアーをきっかけにさらに親交を深めてモーツァルトを中心に広がりを見せている。



会報「モツとも」は、モーツァルト倶楽部(音楽祭に協賛いただいた個人)会員向け情報誌です。  
年4回発行していました。これまでの記事の内容一覧と、ピックアップした号をご覧ください。

- 2013年 1号「インタビュー モーツァルト音楽祭って?」「おいらが話す モーツァルト音楽祭のはじまり」  
2号「演奏者インタビュー お寺でモーツァルト?」  
「おいらが話す音楽祭のチカラ 富山県オーケストラ連盟」  
3号「演奏者インタビュー 松田わかさん&梨子さん」「アマデウナツキン@ザルツブルグ」  
4号「演奏者インタビュー 塚田尚吾さん」「今年もおいしいモーツァルトがそろいました」
- 2014年 1号「宇奈月アマデウス祝祭合唱団の練習をレポート」  
「お店紹介 酒井菓子舗さん 河田書店さん」「オリジナルTシャツ」  
2号「オペラ・ルスティカーナについて 植松昌さんに聞きました」  
「お店紹介 つぼやさん」「モーツァルト人形」  
3号「二本松守さんに聞きました」「お店紹介 福多屋さん」  
「モーツァルトの衣装は誰が作ったの?」  
4号「瀧藤浩人さん瀧藤砂和さんご夫妻にお話を伺いました」  
「ここかと思えばまたまたあちら…神出鬼没のモー娘♪たち!？」
- 2015年 1号「fleurire(フルリール)さんにお話をうかがいました」  
「すっかりおなじみとなった、やまびこ橋での演奏と言えば…富山ホルニステンさんですね!」  
2号「きてい・みゆーじっくる一む代表 中島美奈さんに聞きました」  
「ブランシュ木管五重奏団の山岸弘美さんにききましたよ」  
3号「山口裕佳理さんにききました」「会場送迎の(別名)朝顔博士 中村勇さん」  
「Andante Grazioso 石井由美子さんにききましたよ」  
4号「入善混声合唱団 団長の米澤憲二郎さんに聞きました」「オリジナル切手完成」  
「雪の華 辻久直さんに聞きました」
- 2016年 1号「久保敏江さんに聞きました」「トリオMMOのご紹介」  
「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団スプリングコンサートの報告」  
「宇奈月温泉総湯“湯めどころ宇奈月”オープニングコンサートの報告」  
2号「おもちゃばこキネン合奏団のご紹介」「Viva・Sunのご紹介」  
3号「ジェイド・プラスアンサンブルのご紹介」「MOTOHIROのご紹介」  
4号「横島勝人プロデュース 歌劇“ドン・ジョヴァンニ”ハイライト公演」  
「横島勝人プレミアムトーク」「夜のロビーコンサート 宇奈月カルテット」  
「室内楽ワンコインコンサート 塚田尚吾と仲間たち 他」
- 2017年 1号「横島勝人プロデュース 歌劇“フィガロの結婚”ハイライト公演」  
「室内楽ワンコインコンサート」「横島勝人プレミアムトーク」  
「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団公演」  
2号「おもちゃばこキネン合奏団さんの紹介」「うなジオ ご存知ですか?」  
3号「アンサンブル・パレットさんの紹介」「宇奈月温泉つべつベキッズのご紹介」  
4号「女声コーラスグループ“カンターレ”さんのご紹介」  
「黒部市宇奈月中学校吹奏楽部さんのご紹介」
- 2018年 1号「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団アンサンブルコンサートのご報告」  
「宇奈月モーツァルト音楽祭(第9回)の企画」  
2号「粟津惇ヴァイオリンコンサートのご報告」「第13回名水の里 第九コンサートのご報告」  
3号「ドルチェ・リンカーさんに聞きました」「鷺見曜子・藤原幹子さんのご紹介」  
4号「コンセール・サンティ富山 宮本範子さんに聞きました」「歌劇“魔笛”のご案内」
- 2019年 1号「塚田尚吾ピアノコンサート(会場 YASUKOハウス)のご報告」  
「市民大学講座 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団アンサンブルコンサートのご報告」  
2号「増井憲梨さんに聞きました」「おとDoモーツァルト(澤田陽子さん)に聞きました」  
3号「加藤恵さんに聞きました」「和玲の会の皆様に聞きました」  
4号「門田宇(かどたかし)さんに聞きました」

湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月

Mozart@UNAZUKI since 2010



こんにちは。モーツァルト大好き温泉猿のサルエリコです。みなさんに応援いただいているモーツァルト音楽祭も、今年で4回目を迎えることになりました。毎年、少しずつ工夫を加えて、新しい表情を作りながら育てていただいています。本当にありがとうございます。みなさんの応援と励ましに感謝して、「友の会だより」を発行することにしました。友の会のみなさん限定の会報です。音楽祭の裏話やお得情報などをまとめてお届けします。お楽しみに。今回は、音楽祭についてのあれこれです。



インタビュー モーツァルト音楽祭って?

一音楽祭実行委員長の上田さんに、音楽祭の特徴についてお話を聞きました。

上田洋一さん

○モーツァルトだらけ

この音楽祭では、モーツァルトの楽曲さえ流れば(演奏じゃなくてもいいの?)プロ・アマを問わずだれでも参加できます。演奏のレベルは問いません。最年少は、0歳の乳児。ママさんたちに連れられて、セレネ小ホールに立ちました。あ、立ってない子もいたので、舞台上「のりました」(笑)とにかく、モーツァルトにからんでいけば何でもありです。相当なレベルの一流の演奏家も参加していますし、地域で活躍する演奏家や小さい子どもながら一流の演奏を聴かせてくれる子もいたんです。音楽教室でまるごと参加していただいたみなさんもあります。エレキギターソロ演奏もありました。もちろん、モーツァルト。そのうえ、スペシャルコンサート以外は、すべて無料。スペシャルコンサートもお求めやすくなっています。温泉にきてみたら音楽にあふれていて、ゆきずりや通りがかりのモーツァルトを楽しまれた方もありました。



○宇奈月温泉ならではの

駅舎や広場、黒部川に架かる橋、博物館の前、足湯、そして、お寺の本堂など温泉街ならではの空間を生かした「まちかどコンサート」、ホテルや旅館のロビーを使った「ロビーコンサート」、そして、セレネを使った「ホールコンサート」など見たことのない宇奈月温泉ならではの音楽風景をつくり出しています。昨年は、山彦遊歩道でホルンの演奏が行われました。音楽に誘われて、山のおサルも演奏家のすぐそばまでやってきました。これには、わたしたちも驚きました。



○スペシャルオーケストラまでも

この音楽祭の華「スペシャルコンサート」(今回は、2つ)は、音楽祭のためにつくられたスペシャルオーケストラが登場します。第2回の音楽祭からは、横島勝人さん指揮による若手の一流演奏家や県内で活躍する演奏家によるスペシャルオーケストラ「モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ」が編成され、心に残る素晴らしい時間を描いていただきました。今年も、このオーケストラをプロによる編成にグレードアップ。さらに、地元で活躍しておられる演奏家を中心に「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団」が生まれます。2つのスペシャルオーケストラを堪能していただけます。それに加えて、山梨県でアマチュアオペラ楽団ルスティカーナさんがなんとオペラ「フィガロの結婚」全4幕生演奏で披露されます。公演と3日間連続の大ホールコンサートになりました。

関連イベントもたくさん!

○関連イベントもたくさん!

モーツァルトの音楽を聴かせて仕込んだ宇奈月麦酒館の「モーツァルトビール」、モーツァルト聴かせながら栽培した「モーツァルト米」を始め、温泉街のお店に協力していただき、モーツァルトやオーストリアにちなんだ期間限定の「おいしいモーツァルト」が販売されます。モーツァルトを聴きながらの茶会や横島勝人さんの軽妙なモーツァルト談話「モーツァルトへの旅」など、そこかしこでモーツァルト気分を楽しめます。また、期間に合わせて運行される富山地方鉄道の「モーツァルト電車」。アマデウナツキンのヘッドマークを付けた初代レッドアロー号が峡谷を走る姿やお出迎えの演奏など、鉄道ファンにも見逃せません。



○手作り音楽祭なんです

この音楽祭は、黒部市や宇奈月温泉の関係のみならず多くの支援をいただいています。音楽会の趣旨に賛同した街の有志たちが集まって作り上げている音楽祭です。ボランティアが集まって、こうだったらおもしろい、こうしてみたらどうだろうと工夫を重ねています。ボランティアにはどなたでも参加できますよ。よかったら、ごいっしょに音楽祭を育てていきませんか?それぞれにできることが何かあると思います。ぜひ、ごいっしょさせてください。



—上田さん、ありがとうございます。今年もいい音楽祭になりそうですね。楽しみにしています。

おいらが話す「モーツァルト音楽祭のはじまり」

ちわっす。温泉グマのウォルフガンクマだゾ。おいらは、音楽祭のはじまりについて話したいクマ。

3年前の今ごろのことだクマ。宇奈月温泉を訪ねられた指揮者の横島勝人さんが峡谷の風に吹かれながら、宇奈月の風景を見て、「宇奈月にはモーツァルトが似合う」とつぶやかれたんだクマ。

それまでも、モーツァルトの生誕地オーストリアの古都ザルツブルクの景観や風土と宇奈月がよく似ているって思っていた人もあったんだクマ。黒部川の川の流れがモーツァルトの音楽のようだって思っていた人もあったんだクマ。そういう人たちが横島さんのつぶやきを聞いて、やっぱりそうだったんだって思ったらしいんだクマ。すぐに、宇奈月温泉をモーツァルトの音楽であふれさせようってアイデアが生まれたんだゾ。

だけど、そんな音楽祭なんてだれも見ることがないクマ。でも、宇奈月温泉ならではの場所がいっぱいあって、そういうのをう

まく生かして自然と街並み

と音楽を組み合わせた音楽風景を作ろうとしたんだクマ。でも、見たことがないものをどうやって作るんだろうっていうことで、音楽祭のイメージをPVに作っちゃったんだクマ。一撮影の時のスチールだゾ。それで、youtubeに流したんだクマ。今もちゃんと見られるゾ。暑い日だったけれど、1日で一気にやっちゃったゾ。宣伝に使うお金がないものだからブログやホームページ、ツイッター、Facebookなんかもがんばってつくったゾ。「モーツァルト 宇奈月」って検索するといろんなのがでてくるからぜひ見て欲しいゾ。



まっす。温泉グマのウォルフガンクマだゾ。おいらは、音楽祭のはじまりについて話したいクマ。

音楽祭の情報は、たいていそこからいただけるんだクマ。スマホにも対応しているゾ。

音楽祭なんて本当にできるのかと思いつつも、たくさんの方が協力してくれて、どうにか形ができてきたクマ。



ウォルフガンクマ

最初の演奏会は、早朝のお寺の本堂。ご住職の二上さんのフルート演奏。そして、クラフズさんの宇奈月温泉駅前噴水広場での演奏では、風景に浮かび上がるドレス姿のカルテットにみんなが驚いたゾ。浴衣姿の温泉のお客さんを前に演奏される本格的なモーツァルトの演奏や小学生の女の子の懸命な演奏にも感動したクマ。セレネホールでの数時間がかりの室



内業やメインコンサートもたくさんの方がレベルの高い演奏に感動しておられたんだゾ。それから3年。すっかりおなじみになった音楽祭のキャラクター「アマデウナツキン」にもボクらのような仲間が増えたんだクマ。

タオルやてぬぐい、Tシャツ、ピンズなどアマデウナツキングッズもたくさん登場して、多くの人に心を寄せていただける音楽祭になったと、温泉グマのおいらも向こうのお山からよろこんでいるぞ、ホホーイ。今年もまた、たくさんの方が集まってにぎやかに音楽祭を楽しんでくれるとうれしいゾオ。



出演者募集中！

あなたもモーツァルト音楽祭に出演しませんか？モーツァルトの音楽であれば、プロ、アマチュア、ジャンルは問いません。音楽を通して人々をつなぎ、楽しい音楽祭をいっしょにつくりましょう！詳しくは、募集要項をご覧ください。

音楽祭実行委員  
ボランティアスタッフ  
募集中！

音楽祭の企画や運営について話し合う実行委員や当日のお手伝いをいただくボランティアスタッフを募集しています。音楽にくわしくない、イベントスタッフなどやったことがない、時間がない。そんな方でも、必ずあなたがだれかのためにできることがあります。どこにもないここだけの音楽祭をあなたがいっしょに。くわしくは、事務局までお問い合わせください。

9月22日(日)セレネ・大ホール 14:00開演  
モーツァルトの宇奈月フェスティバル室内オーケストラ  
音楽祭のためのスペシャルオーケストラはプロ編成でリニューアル。関西フィルコンサートマスターの岩谷祐之氏の独奏を予定しています。この音楽祭ならではのクオリティをお楽しみください。  
一般 2000円(全席自由)  
ヴァイオリン協奏曲第2番ニ長調K.211、ティヴェルトメントニ短調K.136、交響楽第29番イ短調K.201

9月23日(祝)セレネ・大ホール 14:00開演  
宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団 指揮 横島勝人  
富山県オーケストラ連盟加盟団体選りすぐりのメンバーで、演奏の機会の拡充と育成を目的にしたもうひとつのスペシャルオーケストラを編成しました。音楽祭の旗、横島勝人さんが指揮します。リハーサルの様子は、一部限定で公開できるように準備を進めています。ピアノ独奏は、気鋭の若手演奏家、塚田尚音さんです。この音楽祭ならではの華やかな祝祭音楽風景を味わってください。  
一般 1000円(全席自由)  
逍遙「皇帝」の第1楽章 K.621序曲、ピアノ協奏曲第23番イ短調K.488、交響曲第36番ハ長調「リンツ」K.425

友の会会員募集中！

モーツァルト音楽祭を応援し、励ましてくださる友の会会員を募集しています。年会費は1000円です。ぜひ、多くのお友達をお誘いください。プログラムや関連イベントのご案内、友の会だよりをお送りします。寄付金として複数口でのお申し込みも歓迎します。「郵便払込票」によるご入金をお願いします。(手数料はご負担ください)  
口座番号00770-8-61032  
口座名は「宇奈月モーツァルト音楽祭実行委員会」

編集・発行 モーツァルト音楽祭事務局 アマデウナツキンのなかまたち

〒938-0282 富山県宇奈月温泉6-3 宇奈月国語会館セレネ内 電話0765-62-2000 メール mozart-fes@unazuki.org



湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月  
Mozart@UNAZUKI since 2010モツとも 2019年  
第4号


こんにちは。モーツァルト大好きのサルエリコです。第10回の音楽祭も目前です。今回は音楽祭に深く関わってくださっている、門田宇(たかし)さんの特集になります。門田さんの熱い思いに触れてください。」

## 門田 宇(たかし)さんに聞きました



第10回目のモーツァルト音楽祭を迎えるにあたって、バリトン歌手の門田宇(たかし)さんにお話を聞きました。そうです、あの昨年の歌劇「魔笛」でパパゲーノの役をこなされた方です。スペシャルコンサートでもバリトンソリストとして4年間歌っておられる方です。お話を伺ってみたら、なんとも「熱い」方でした。

お生まれは東京ですが、物心ついた時からクラシックバレエを習い、歌に踊りにご活躍されておられたようです。三重県に住んだ時にはNHKの児童劇団に属し「中学生日記」という番組などにも出演したそうです。どちらかと言うとミュージカル分野を進んでこられたそうですが、小学校5年生の時に富山県高岡市に転居して環境がガラリと変わり、ライブハウスでロック、ジャズなどの音楽に触れる機会が多くなり、高校時代は日野照正に憧れてトランペットを吹いていたそうです。しかし、音楽の道に進むために大学は音大を受験し見事合格。そこでは当時はクラシックの音楽を勉強する課程しかなくて、クラシック漬けの4年間が待ち受けていました。それまでオペラなど全く知らず、ましてイタリア語ドイツ語なんて全く渡らない中で、「音楽の中にストーリーを自分で見つけてそれを表現する。」ということに努めたそうです。その甲斐あってか、大学を男性の中ではトップで卒業したのですが、大学院や海外留学の話も持ち上がる中で、「このままクラシック一本でいくのはどうだろう」と考えた末に、富山に戻る決断をしました。富山に来てみて、「音楽の仕事だけで生活していくということは非常に厳しい。」ということに直面して、やむなく「バイトの三連荘で二日間睡眠もとらずに働きながら生活する」という日々が三年間も続いたそうです。そして、音楽の仕事が入ってきたらその練習時間でバイトの時間が削られて生活に困窮するという時代があったそうです。そういう経験をもとに、「自分は富山に音楽を根付けたい。若い人たちにはこんな苦勞をさせたくない。だから、自分はその道を開いていくのだ。」という、ご本人曰く「雑草根性」信念をもって行動していくということに決めたそうです。また、門田さんが常に心掛けているのは「一般の人にわかりやすい表現をしていきたい。自己満足の発表会ではだめだ。お金を出して、時間を作って来ていただいたお客さんが、終わったら『ああ疲れた』と思われるような公演はしないほうがいい。クラシックは受け入れにくいですがそれをわかりやすく表現して、一般の方たちにもわかるようにする懸け橋になりたい。」と言っておられます。実は今回、14日に予定されている「ガラコンサート」の企画演出を担当されているそうですが、歌われる方々にそれをお願いしているということでした。そうなのです。門田さんは、オペラの歌手の人集め、人選、企画、演出などにも携わられているのです。(裏面へ)

宇奈月モーツァルト音楽祭事務局 〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉6-3  
電話 0765-62-2000 メール mozart-fes@unazuki.org 



今回、門田さんのインタビューを通じて門田さんの並々ならぬ音楽への情熱を感じました。また、お客様にいかに満足してもらうかというプロのサービス精神を教えてくださいました。門田さんは現在 6 つの合唱団体の指導をしておられるとともに、「ホビット」という男性ボーカルユニットを立ち上げて、いろいろなジャンルの曲を歌っています。ただ歌うだけでなく、プロジェクターも使って視覚的にも楽しんでもらうような工夫もしているそうです。また、このようにクラシック音楽に限らず、いろいろなジャンルの音楽を幅広い層の方々に親んでもらい特に若い方々に楽しんでもらうような活動を続けて行っておられます。門田さんが「富山に戻る」と言ったときに、「あそこで音楽で生きていくのは難しい」と言われたそうですが、「そういう環境を変えていきたい。」という強い信念をお持ちです。「モーツァルト音楽祭もあと 30 年続けたい。」と言っておられます。「さあ、これに答えられるように私たちがなすべきことは何なのでしょうか？」という大きな石を投げかけられた気持ちがあります。音楽祭も 10 周年を迎えて節目ではありますが、こういう若者達の活動の機会や環境を整えていくのも必要ではないでしょうか。門田さんに教えられた感じがします。

モーツァルト音楽祭実行委員会 実行委員 広報誌(モツとも作成担当) 鷲見隆久

**宇奈月モーツァルト音楽祭(第10回)の企画** 時間・料金など変更になる場合があります



- 9月14日(土)**

オープニングオペラシリーズⅣ「コシ・ファン・トゥッテ」  
15:00開演 会場 セレネ大ホール 1000円(全席自由)

---

音楽祭10周年特別企画 古澤 巖 ヴァイオリンソロ～モーツァルトとぼくと～  
19:00開演 会場 セレネ 3000円(全席自由)
- 9月15日(日)**

モーツァルトキッズコンサート 10:00開演 会場 セレネ小ホール 無料

---

音楽祭10周年特別企画 澤武紀行&宇奈月カルテット ジョイントコンサート  
12:30開演 会場 セレネ大ホール 1500円(全席自由)

---

オペラガラコンサート 14:30開演 会場 セレネ小ホール 無料
- 9月16日(祝)**

横島勝人プレミアムトーク「モーツァルトのレクイエム」  
10:30開演 会場 セレネ大ホール 無料 聞き手 中島ルミ子

---

スペシャルコンサート「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団」公演  
15:00開演 会場 セレネ大ホール 一般1500円/学生500円(全席自由)

湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月  
Mozart@UNAZUKI since 2010

# モツとも 2015年 第2号



こんにちは、モーツァルト大好き温泉郷のサルエリコです。今年のモーツァルト音楽祭は9月19、20、21日の3日間わたくし盛にたくさんの方々が参加して下さっています。いよいよ参加者の募集も締切になりました。どんな人たちが参加してくれるのか楽しみですね。さて、今回も過去に出演して音楽祭を盛り上げて下さっている方々を紹介していきますよ。



## 「きてい・みゅーじっくるーむ」 代表 中島美奈さんにききました。

宇奈月の街に響く子供たちの演奏…「きてい・みゅーじっくるーむ」です。たくさんの子供たちが参加しており、なかには3歳の子も。みんなでピアノや鍵盤ハーモニカ、ハンドベル、打楽器などを使って、モーツァルトの音楽を披露してくれました。

「きてい・みゅーじっくるーむ」は入善町と朝日町にある音楽教室で、宇奈月モーツァルト音楽祭には第1回から参加していただいている常連さんになります。1回目のとき参加した小さな子が

小学校高学年になり、そのとき小学生だった子が高校生になって出演するなど、歴史と思い出のあるグループなのです。

代表の中島美奈さんは音楽の指導者としてピアノやエレクトーンのほか、リトミックやソルフェージュに力をいれておられるそうです。一応説明しますと、リトミックとは、音楽の技術的な学習の前に体の動きと音とを結びつけるリズムを中心とした教育のことで、ソルフェージュは楽譜を中心とした音楽理論を実際の音に結びつける練習のことで、(…あってるかな) ちなみに中島さんはリトミックの指導においては「この道の円熟の域」に達しておられるそうですよ。だからでしょうか、子供たちからは、演奏が楽しい！という気持ちが伝わってきます。さらに中島さんは指導者としてだけでなく演奏者として「風樹音(ふうじゅおん)」というピアノとエレクトーンの二人組みのグループで音楽祭に出演していただいたこともあります。あの演奏は圧巻でした。

「素人が演奏発表の場を与えられる宇奈月モーツァルト音楽祭は大変ユニークで素晴らしい、またありがたい場です」と中島さん。さあ、今年の「きてい・みゅーじっくるーむ」の子供たちはどんな曲と演奏でわたしたちを楽しませてくれるのでしょうか。



湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月 2015年9月19日(土)～9月21日(月・祝)

宇奈月モーツァルト音楽祭事務局 富山県黒部市宇奈月温泉6-3 電話 0765-62-2000



ウォルフガングマくん

**Andante Grazioso**  
(アンダンテ・グラツィオーソ)  
石井由美子さんにききましたよ



モーツァルト音楽祭に第1回から出演されている「アンダンテ・グラツィオーソ」さん。彼らが活動している音楽教室に、代表の石井由美子さんを訪ねました。

電鉄魚津駅のそばにある教室にうかがうと、なんと取材に対応してくれるためにメンバーの子供たちが待機してくれました。学校帰りの忙しい時なのにありがとうございます。そして、私の目の前で音楽祭で演奏する曲を披露してくれましたよ。ピアノに合わせたハンドベルの演奏です。5月から練習をしているとあって、皆息もびったり！ハンドベルの澄んだ音がとても心にしみてきました。

音楽祭では、どの子も、それぞれにピアノのソロや連弾を演奏した上で、一緒にハンドベルの演奏を行うプログラムになっているとか。メンバーの最年少は6歳の子で、今回モーツァルトが6歳の時に作曲した曲にチャレンジするそうです。なんだかわくわくしますね。きっと6歳の子にしか出来ない演奏になるはずですよ。

そして第1回の音楽祭に小学生で出演した子はもう高校生に。6年もたつんですものね。メンバーの中には、親の転勤で大阪に引っ越してしまったものの、休みを利用して帰ってきて一緒に出演する子もいるそうです。なんだか音楽を通したつながりがまぶしいです。そんな機会を提供できる音楽祭をちょっと誇らしく感じる夏の日でした。

なお、子供たちは音楽祭で演奏した後に温泉につかってゆっくりするのが楽しみなんだとか。う～ん、これも音楽と温泉を満喫できる宇奈月モーツァルト音楽祭ならではのですね。



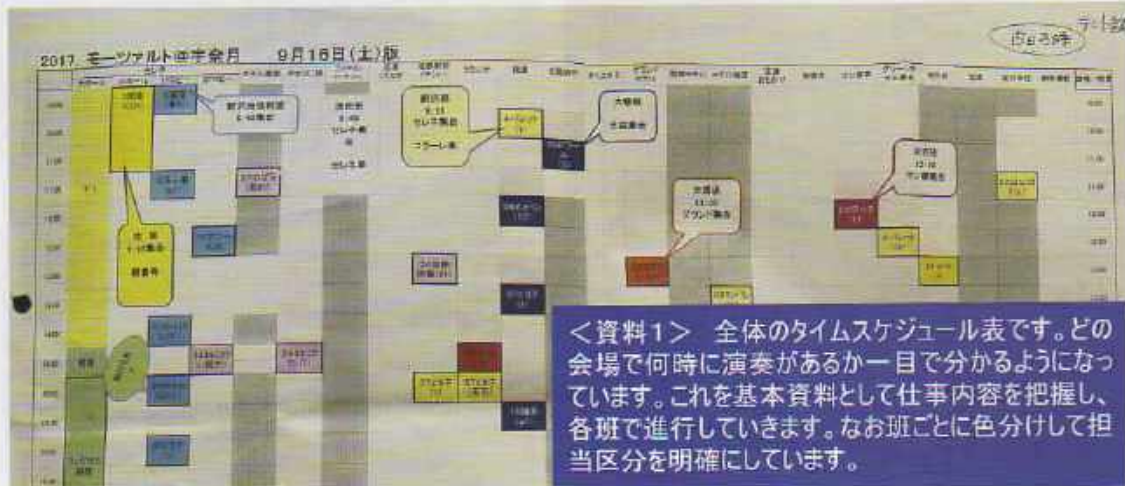
音楽祭スペシャルコンサート  
宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団  
指揮 横島勝人

- ♪ 交響曲第39番 変ホ長調 K.543
- ♪ レクイエム 二短調 K.626
- 合唱：宇奈月アマデウス祝祭合唱団



9.21(祝)  
15:00開演  
セレネ・大ホール  
一般 1500円(全席自由)

音楽祭の特徴はなんといっても「街かどコンサート」です。本来演奏するためではない会場でコンサートを行うので、譜面台はもちろん客席も準備しなくてはなりません。また、お借りしている場所ですので、ご迷惑にならないようスムーズに進行する必要があります。しかも会場は10箇所以上あるため、複数を担当する班もあります。音楽祭の開催に欠かせないスタッフ用資料をお見せします。



演奏日(土)	日時	演奏会場	曲名	人数	楽器	担当	備考
10:00	10:00	10:00	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	10:30	10:30	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	11:00	11:00	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	11:30	11:30	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	12:00	12:00	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
13:00	13:00	13:00	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	13:30	13:30	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
15:00	15:00	15:00	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	15:30	15:30	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	16:00	16:00	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団
	16:30	16:30	モーツァルト 交響曲第41番	1	管弦楽	1	管弦楽団

＜資料2＞ 担当箇所の内容を詳しく表しています。準備すべき備品の数や、注意点、特にしてもらいたい仕事などが記されています。また班のメンバー表になっています。

班番号	出演者グループ	人数	プログラム	会場	配置図
1	管弦楽団 (おととい)	4	モーツァルト 交響曲第41番 ベートーヴェン 交響曲第5番 ショパン 夜曲 Op.9 No.3 モーツァルト 交響曲第41番	第1会場	配置図
3	五十嵐博子 (独奏)	1	ピアノソナタ K.577 変奏曲 ピアノソナタ K.577 変奏曲	第2会場	配置図
4	リコーオーケストラ (吹奏)	8	Quartett-Stücke nach Wolfgang Amadeus Mozart Quarten für zwei Hörner	第3会場	配置図

＜資料3＞ 全演奏者のプログラムとメッセージ、会場配置図を受付番号順にまとめたものです。資料1と2には、演奏者名とともに、この番号が記載してありますので、すぐ調べることができます。会場準備や開演前の紹介アナウンス、お客様からの質問に対応できるようになっています。

## 音楽祭 スタッフの仕事

音楽祭を運営するスタッフたちの仕事を紹介します。



左 セレネ1階の総合受付です。1日に100名を超える出演者を迎え、控室に案内したり、お客様に対応したり、グッズやチケットを販売したりと様々な仕事をこなします。音楽祭の顔となる大切なお仕事です。

右 街かどコンサートの現場担当は、お客様用のイスを運んだり、出演者のための譜面台を設置したりと大忙しです。会場や出演者によって必要な備品の数が違いますので、指示書に応じて、はやめはやめに動きます。



左 広報・記録担当です。最新情報をブログにアップしてくれます。演奏の内容や街の様子など臨場感たっぷりです。ただし、音楽祭では朝から30分おきにコンサートがあり、3つのコンサートが同時進行している場合もあるので、ゆっくりするヒマはありません。コンサートとコンサートの間わずかな時間でこなす、大変なお仕事です。



右 現場担当は会場の準備ができたなら、お客様に開演前のアナウンスをし、出演者を紹介します。出演者によって、スタートの仕方が違いますので、事前に演奏者と打合せを行います。



左 温泉噴水広場担当です。グッズ販売のほか、お客様へのご案内、他の会場の応援などをとめます。



上 グッズを紹介するポップをかいているところ。各スタッフがそれぞれの判断で、全体をよりよくしていきます。

音楽祭  
スタッフの仕事



左 現場担当スタッフの打合せ。ボランティアスタッフの中には、はじめて参加する方もいますので現場責任者が仕事内容を説明します。



上 次の内容を確認 自分の担当箇所をチェック



上 ホール担当スタッフ。お客様にわたすプログラムを準備し、チケットもぎりや物販を行います。ステージ上では譜面台や演奏者の椅子も設置します。



上 やまびこ橋へ向かう道の途中に、お客様を案内をするスタッフを配置しています。その時間だけ各班から集まり、演奏が終わると元の班へもどります。



大勢のお客様が訪れ、出演者の方も続々と受付してきます。受付では、出演者名簿のチェック、領収証の確認、グッズの整理など大わらわです。あらためて、全担当スタッフのみなさま、いつもありがとうございます。音楽祭はみなさまのご協力があってはじめて開催できるのです。



おまけ 事前準備あれこれ。レンタルしたグランドピアノを設置(もちろんこれはプロにおまかせ)。ハンドマイク付きスピーカーは公民館などから借用しています(各演奏会場でアナウンスや演奏者のトークに使用)。このほか、譜面台や演奏者用の椅子、客用の椅子、カラーコーンなど、たくさんの備品を他の施設から借りています。



# 宇奈月でモーツァルト祭

山や湖 生誕地と共通点

黒部市の宇奈月温泉を舞台に、モーツァルトをテーマにした音楽祭が9月に開かれる。生誕地の、オーストリア・ザルツブルクの美しい山や湖に囲まれた温泉が温泉街と重なることから、有志が企画した。足湯周辺や黒部川の山原、ホテルのロビー。温泉街のさまざまなスポットで演奏し、モーツァルトの名曲あふれる空間を演出する。計画を進める有志は「宇奈月温泉を音楽の聖地に」と構想を膨らませている。(黒部支局長・松井公一)

宇奈月でモーツァルト音楽祭の開催が、黒部市では、10月に開く温泉祭の出演者募集に続いて、出演者を募集している。出演者は、モーツァルトの音楽を聴くだけでなく、温泉街の風景を楽しむこともできる。出演者を募集しているのは、黒部市観光協会だ。問い合わせは、黒部市観光協会事務局(076-832-2000)。

黒部市でモーツァルト音楽祭を開催する。モーツァルトの生誕地であるオーストリア・ザルツブルクは、美しい山や湖に囲まれた温泉街と重なることから、有志が企画した。足湯周辺や黒部川の山原、ホテルのロビー。温泉街のさまざまなスポットで演奏し、モーツァルトの名曲あふれる空間を演出する。計画を進める有志は「宇奈月温泉を音楽の聖地に」と構想を膨らませている。

## 9月 温泉街で演奏会

黒部市でモーツァルト音楽祭を開催する。モーツァルトの生誕地であるオーストリア・ザルツブルクは、美しい山や湖に囲まれた温泉街と重なることから、有志が企画した。足湯周辺や黒部川の山原、ホテルのロビー。温泉街のさまざまなスポットで演奏し、モーツァルトの名曲あふれる空間を演出する。計画を進める有志は「宇奈月温泉を音楽の聖地に」と構想を膨らませている。

北日本新聞  
2010年6月18日



## 宇奈月・モーツァルト音楽祭

# 来年9月に3回目

特別編成オケ規模拡大

黒部市でモーツァルト音楽祭を開催する。モーツァルトの生誕地であるオーストリア・ザルツブルクは、美しい山や湖に囲まれた温泉街と重なることから、有志が企画した。足湯周辺や黒部川の山原、ホテルのロビー。温泉街のさまざまなスポットで演奏し、モーツァルトの名曲あふれる空間を演出する。計画を進める有志は「宇奈月温泉を音楽の聖地に」と構想を膨らませている。

黒部市でモーツァルト音楽祭を開催する。モーツァルトの生誕地であるオーストリア・ザルツブルクは、美しい山や湖に囲まれた温泉街と重なることから、有志が企画した。足湯周辺や黒部川の山原、ホテルのロビー。温泉街のさまざまなスポットで演奏し、モーツァルトの名曲あふれる空間を演出する。計画を進める有志は「宇奈月温泉を音楽の聖地に」と構想を膨らませている。

北日本新聞  
2011年12月30日









## 音楽祭 参加者一覧

公募出演者を参加地ごとにまとめた表です。グループは基本的に代表者の住所となっていますが、各地から参加していることが明らかな場合は、複数の住所で表しています。なお、年によって違う名称の参加者は、ひとつを表記し他を省略させていただきました。

### ○北海道

北海道・富山 「鷺見曜子・藤原幹子」

### ○関東地方

大阪府・東京 「久保敏江」

東京都 「藤野曜子」「16's」「ポムドール」「Trio109(トリオ・アインヌル・ソイン)」「杉本眞子」「Duo Pieces」

東京・富山 「MOTOHIRO」

神奈川県 「カント・フェリーチェ」「Ken & Sanae」「プレリユード」「増井恵梨」

静岡・千葉・長野 「トリオMMO+Tera」

### ○中部地方

長野県 「ViVa・Sun」

新潟県 「道又 融」

山梨県 「オペラ・ルスティカーナ」「ハヶ岳クワルテット」

岐阜・愛知 「おもちゃばこキネン合奏団」

岐阜・富山 「河村はるみ・目澤絵理奈」「森 更・中沖いくこ」

愛知県 「篠笛アンサンブル風」「コンスタンツェ」「VIVA! B & G」「アンサンブルAndante」

石川県 「吉田俊介&清水史津」

石川・富山 「雪の華」

### ○関西地方

京都市 「こまちとみはるとモーツァルトと」「横田知枝子」「宮下幸子」

大阪・富山 「山口裕佳理」

大阪府 「ピカ子★フェラーリ」

滋賀県 「ひこね第九アンサンブル ひこにゃんず」

兵庫県 「Duo M&M」

### ○富山県

「天池千鶴子」「アマですカルテット」「安藤園子」「アンサンブルHIT」「アンサンブル・ド・ヨール」

「アンサンブル・パレット」「Andante Grazioso(アンダンテ・グラツィオーソ)」「アンサンブル ミルトス」

「アンサンブルFigaro」「ensemble Toujours(アンサンブル・トゥジュール)」「アンサンブル・ボワール」

「石井由美子」「石川美羽」「五十嵐博子」「いづみミュージックスクール」「岩佐なお」

「魚津リコーダーアンサンブル」「碓井悠仁・奏志郎・三恵子」「宇奈月中学校吹奏楽部」

「浦野みなみ」「宇奈月温泉つべつベキッズ」「Öden-Solisten(エーデン ソリステン)」「岡島聡子」

「岡村舞」「オカリナクラブ」「オカリナサークル 野の花」「オカリナ ぼっぼの会」

○富山県

「おコト de モーツァルト」「音ト色」「おとなるアンサンブル」「楽団ふたり」「加藤 恵・相山知範」  
 「川井著子・上坂愛美」「川原直哉」「川原実沙枝」「カンテリーナ」「合唱団 黒部グロリア」  
 「Quatour Enfantin(カルテット・アンファンタン)」「上村孝子」「北山陽彩(はるあ)」  
 「きてい・みゆーじっくるーむ」「北アルプス吹奏楽団」「きらぼか」「國香悠子」「ClaFlu's(クラフルズ)」  
 「黒部マンドリンアンサンブル」「黒部混声合唱会」「黒部混声グロリア」「Klang(クラング)」「K & I」  
 「K-DRY」「コーラスHANA」「コレギウム・ムジクム・ジュニア・アンサンブル」  
 「コラーレ・キーボードオーケストラ」「コンセール・サンティ富山」「奏(かなで)トリオ」  
 「櫻井麻耶&森内ゆう子with素敵なお仲間」「佐藤里紗」「ザツハトルテット」「サファイア」  
 「ザルつるっと喰うズ」「澤武紀行」「沢田保奈美」「澤田陽子」「サククス&ピアノ 山口」  
 「ジェイド・ブラスアンサンブル」「女声コーラスグループ・カンターレ」  
 「女声合唱団 ヴォーチェ・フォンターナ」「スイーツ・ミュージック・カルテット」「姿 園子」  
 「青春を忘れられない大人達feat.JUNPEI」「瀬音の会」「関口真理・関口陽子」  
 「世代を超えたデュオ」「そよ風の会」「ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノトリオ」  
 「ソプラノコンサート」「高山夏漣・板林 瞳・高山嵯彩」「ドルチェ・リンカー」「富山ホルニステン」  
 「Duo音の芽」「高村美香」「富山シティフィルハーモニー管弦楽団」  
 「富山大学フィルハーモニー管弦楽団」「塚田尚吾」「ドレーミガールズ&ボーイ」  
 「富山地方鉄道吹奏楽団」「Trois Fleurs(トワ フルール)」「トリオ・フローラン」  
 「富山高等専門学校ピアノ部」「TOYAMAグラン・ソレイユ」「富山大学医科薬科管弦楽団」  
 「とやま桐クインテット」「とやまレディーズオーケストラOASIS」「Dragon valley quartet」  
 「富大フィル山王子カルテット」「富山高専本郷キャンパスピアノ部」「入善混声合唱団」  
 「西野正彬」「ニシムラヤスコダンスファクトリー」「二本松守・洋子とゆかいなお仲間たち」  
 「野田久美子・平田紀和子」「野ばらの会」「華・HANA」「バッハアンサンブル富山」  
 「瀧藤浩人・五十嵐佳美」「風樹音」「フーガ」「二上 久」「フリューリンクカルテット」  
 「ブランシュ木管五重奏団」「fleurire(フルーリール)」「PLAY CLASSIC」「華路(フラワーロード)」  
 「flauto dolce fonduta(フラウト・ドルチェ・フォンデュ)」「fluclaclaflu(フルクラクラフル)」  
 「ベビ☆ママコーラス」「ベリーニ ジュニア アンサンブル」「ホセンゼルス」「ぼろろん会」  
 「堀内京子」「邦楽アンサンブル 雅」「又場龍大」「松田梨子&わこ」「松本清香」「間部栄司」  
 「マレットリンカー」「マンテマ」「ミラージュ コンソート」「ムジカ・フィオーレ」「むうぎれこ」  
 「武藤音楽教室」「目澤里紗・高橋美咲」「モーツァルトにclacla」「森 愛竜」「美桐(よしまり)会」  
 「山本篤志・山本恵悟」「柳谷 都・山辺裕子」「ライアースタジオ・オーロラ」  
 「ら・こんせーる・のくちゅーるクラリネットアンサンブル」「ラヴ・ミュージック」「ラブバンド」  
 「リトルすずらん」「リトル・ミュージシャン」「れ・こるどう」「rêveur(レヴァール)」「Leufen Grazie」  
 「Le Roselline(レ・ロッセリーネ)」「Roudoku-K.111」「L'Automne(ロートヌ)」「若菜道場」  
 「和田恵理子・芝内あかね・仲松真里奈」「和田智美・田中圭子」「和玲(わりょう)の会」

## 音楽祭はこうして生まれた

前 音楽祭実行委員長 上田洋一

宇奈月温泉の湯音と黒部川のせせらぎにモーツァルトの清澄なメロディーが響き合う時、聞く人にかけてあげのない安らぎと癒しを与えるのでは——。そう考えて私たちが、人と温泉と豊かな自然が織りなす「宇奈月モーツァルト音楽祭」を立ち上げたのは2010年であった。

段ボール箱に乱雑なまま閉まっていた「宇奈月モーツァルト音楽祭」の資料を取り出し、音楽祭を立ち上げた前後の記録を読んでみた。手書きのメモを見ると、音楽祭の基本的な考え方が断片的ながらA4の紙3枚にびっしり書かれており、10年経過した今も、音楽祭の原点がそこにすべて示されているように思えた。

音楽祭を始めたいきさつを簡単に記させていただきます。

「黒部で第九を歌う会」の指揮者として横島勝人氏を招いたのは2006年だった。ベートーヴェンの「第九」を演奏した後、横島先生から提案されたのは、一度ベートーヴェンを離れて別の曲に挑戦し、再びベートーヴェンに戻るといったものだった。そして先生が「第九」に代わって選ばれたのがモーツァルトの「レクイエム」であった。後に「モーツァルト音楽祭」のスペシャルコンサートとして演奏する「レクイエム」をコーラレで初めて歌ったのは2008年だった。この「レクイエム」を歌ったことが、やがて「モーツァルト音楽祭」の立ち上げにつながっていったのである。

モーツァルトが好きだという人は何人もいたのだが、「レクイエム」を歌ったことがきっかけで、宇奈月とモーツァルトの生誕地ザルツブルグとの交流が出来ないかという大それた話が仲間内で持ち上がったのである。宇奈月はモーツァルトの生誕地ザルツブルグに似ているという声もあった。そのことを手紙にして横島先生に相談したところ、先生から返ってきたのは、「交流の前に宇奈月で音楽祭をやったらどうか。それもモーツァルトだけの」という思いもかけない提案だった。

そして2010年2月22日、宇奈月ニューオータニホテル(当時)に横島先生を招いて音楽祭の準備会議が開催された。呼びかけに応じて30名が集まり、音楽祭を立ち上げることを決議したのだった。

私の手書きのメモを整理すると、音楽祭の基本的な考え方は次のようなものだった。(その後、何回も実行委員会のメンバーで議論したテーマであった。)

1. 音楽祭の目的は、新黒部市のまちづくりの基本的な理念である「大自然のシンフォニー 文化交流のまち」の具現化を目指し、音楽祭を通して宇奈月の魅力を内外に発信、交流人口の拡大を図るものである。

2.「宇奈月にはモーツァルトが似合う！」横島先生の言葉である。モーツァルトの清澄なメロディーと温泉の湯音が響き合い、宇奈月の豊かな景観と温泉街のたたずまいが、より一層魅力を発揮することを目指す。

こうした理念の下、実行委員会を立ち上げ、音楽祭の開催に向けて動き出したのであった。時期は宇奈月温泉との兼ね合いで9月となった。

一番議論したのは、モーツァルトに特化した音楽祭として、どんなプログラム編成が出来るかだった。そして柱を二つ、設定した。一つは誰もが楽しめるよう一般公募による演奏参加者を募る。いま一つは、音楽祭の軸、核となる優れた演奏者のプログラムを据えるというものだった。

音楽祭は市民有志がいわば勝手に立ち上げようとしたものである。組織として何の後ろ盾もない音楽祭だった。そこで黒部まちづくり協議会(三井適夫会長・当時)に相談に乗ってもらい、まち協のプロジェクトとして位置付けてもらうことになった。しかし、時間がない、予算がないなかでの手弁当と手探りの運動であり、試行錯誤の連続であった。

横島先生の助言は「金は掛けるな」ということであった。先生の経験からであった。しかし絶対必要な額は確保しなければならない。企業協賛をお願いするものの、自分たちで勝手に始めたのだから身銭を切る覚悟も要ると思った。ただ、金がないから出来ない、という発想は止めよう、知恵を出そうと誓い合った。文字通り手作りの音楽祭であった。

実行委員会には様々の人が集まり、当然意見の相違もある。しかし議論して決めたことは守る。そして自分の出来ることをやる、それが実行委員会の組織論だった。



こうして2010年9月19日～21日の三日間、第1回の「宇奈月モーツァルト音楽祭」(湯のまちふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月)の開催にこぎつけたのだった。2月の準備会議、そして4月の実行委員会の結成からわずか半年余りで開催出来たことは今から思うと奇蹟のような気がする。

軸になるプログラムは武藤憲夫氏の尽力で、二期会副理事長の三林輝夫氏を招き、黒部市出身の声乐とピアノの若手演奏家によるモーツァルトのオペラの魅力を紹介した。

一般公募には20組の応募があり、最終的には個人9、団体26、プロからアマチュアまで264名の演奏者が、34の多彩なプログラムを編成したのだった。演奏会場は宇奈月国際会

## 音楽祭 スタッフメッセージ

館セレネを中心に、快くロビーを提供して下さった温泉街の旅館、ホテルの協力もあり、街角など16の演奏スポットに三日間で延べ3,100人の聴衆が集まった。

試行錯誤のなか、とにかく曲がりなりにも盛会裏に終えることが出来たことは、幸運にも恵まれていたが、色んな関係者の支援協力があったからである。それは一般公募でプロ、アマを問わず、予想を超えて多くの演奏者の参加があったこと、黒部市の企業、団体の協賛がいただけたこと、呼びかけに応じて多くの市民がボランティアとして参加したことである。また、富山県オーケストラ連盟と富山シティフィルオーケストラの無償の協力を抜きにして音楽祭は成立しなかったと言える。

更に最初の2年間、スケジュールの関係で音楽祭の時、宇奈月に来られなかった横島先生に代わってセレネでのメインコンサートをまとめて下さったヴィオラ奏者の内山隆達氏の尽力も音楽祭が軌道に乗る役割を果たして下さった。

幸いマスコミも好意的に取り上げてくれ、2回目以降の開催に手応えを得ることが出来た。実行委員の手になるブログの存在も音楽祭の周知に力を発揮した。当然のことながら反省点や課題も沢山あったが、音楽祭の基本的スタイルは1回目に注いだエネルギーから形づくられたと言えよう。



音楽祭と銘打つから、それもモーツァルトだけの演奏というユニークさをどう発揮していくか、そのための様々な取り組みに挑戦していった。2011年の2回目には、オーストリア大使館と交渉し、後援名義をいただくとともに文化担当参事官夫妻を宇奈月に招聘し、当時の堀内市長とのトークセッションを実施。ザルツブルグ市長から黒部市長に、モーツァルトが宇奈月で多くの人に奏でられていることに対する感謝のメッセージも送られてきた。

2012年からは横島先生にモーツァルトの生涯と音楽を語る「プレミアムトーク モーツァルトへの旅」が始まり、NHKアナウンサーの中條誠子氏に聞き役を務めてもらった。

2015年からはモーツァルト「レクイエム」の演奏がスペシャルコンサートとして、音楽祭のために結成した宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団と宇奈月アマデウス祝祭合唱団によって演奏されるようになった。

また、オペラにも本格的に取り組むようになり、3年前からは出演者をオーディションで選んでいる。



音楽祭のプログラムのバラエティということで、1回の挑戦だけで終わっているが、富山地鉄の協力でモーツァルト電車を運行、駅のホームや車内で演奏を披露した。また、子供たちの参加を促すキッズコンサートも定着してきている。

モーツァルト音楽祭は勿論演奏が中心ではあるが、音楽祭が人々により親しいものに、そして楽しいものになるよう「お祭り」の要素も盛り込もうとした。モーツァルトを聴かせて栽培したモーツァルト米のおにぎりやうどん、モーツァルト麦酒などの「美味しいモーツァルトコーナー」を開設、グッズの販売など素人商法ながら賑わいの創出に努めた。黒部市茶道連盟のみなさんが音楽祭に協賛して、寺院の本堂で東北復興支援のチャリティー茶会を開催、モーツァルトを聴きながらお点前をいただくという試みも3年間続けてもらった。

今回、10周年記念ということでお寄せいただいた原稿を拝読すると、改めてこの音楽祭が多くの人々の善意と支えによって続いてきたことを思い知らされる。同時に、それはモーツァルトの音楽が、現在もこれほど多くの人々に愛されていることの証左でもあると言える。

10年を経過して、音楽祭は転機に立っているとも言える。実行委員会に新しい血の導入も必要だし、地元の若い演奏者と音楽祭を結びつけるプロデューサー的機能も求められる。財政基盤の安定のために、協賛していただける関係者の理解と、音楽祭の規模も検討しなければならない。

このささやかな記念誌が、次の10年に生かされる礎となることを心から願うとともに、原稿をお寄せいただいた方々に深く感謝申し上げます。



音楽祭  
協賛一覧

イーソリューションズ株式会社 一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局

川端鐵工株式会社 YKK株式会社

大高建設株式会社 株式会社植万 株式会社すがの印刷  
株式会社ニイカワポータル 共和土木株式会社 黒部クリーン株式会社  
黒部市農業協同組合 桜井建設株式会社 ダイヤテックス株式会社  
中西グループ協同組合 北陸機材株式会社 北星ゴム工業株式会社

アイデアン株式会社 有磯きときと庵 池田電設興業株式会社 稲垣食料品店  
宇奈月温泉旅館協同組合 湯快リゾート宇奈月グランドホテル 宇奈月国際ホテル  
宇奈月通運株式会社 宇奈月町商工会 宇奈月ビール株式会社 烏帽子山荘  
延対寺荘 延 楽 かたかご会 カフェ・モーツァルト 株式会社カーフィールド  
株式会社黒部重機 株式会社此川運輸 株式会社昌栄堂 株式会社谷口美装  
株式会社谷間の風 株式会社辻鉄工 株式会社ハイテックス 株式会社ホクペレ  
株式会社ホテルアクア黒部 株式会社堀内商会 株式会社MITAI 株式会社山口技研  
株式会社吉田商会 北日本新聞宇奈月販売店 北日本新聞東山販売店 お酒のお宿喜泉  
黒部ライオンズクラブ 此川建設株式会社 ささや 澤武紀行日本後援会 サン柳亭  
しのぎ呉服店 樹徳寺 高木本店&コンビニボプラ宇奈月温泉店 つぼや菓子舗・煎餅店  
東洋ゼンマイ株式会社 中島観光百貨店 日本海ツーリスト株式会社  
平野工務店株式会社 福多屋菓子舗 北陸銀行宇奈月支店 ホテル黒部  
ホテル溪仙 ホテル桃源 松倉建設株式会社 松倉呉服店  
ギャラリー&カフェYASUKOハウス とうふ&スイーツやまとや やまのは 和  
有限会社カーメンテナンス朝倉 有限会社紙谷造園 有限会社中島商事 有限会社中野工業  
有限会社はなと 有限会社モードツジ 横山冷菓株式会社 レストプラザ柏や 焼肉七厘  
いけじりの酒店 石田鮮魚店 伊勢治療院 岩崎商店 宇奈月公民館 おかめん  
河 鹿 株式会社北陸厚生 黒部鮮魚店 コモリ美容室 酒井菓子舗 スナックブービー  
関口食料品店 高倉商店 多喜屋薬局 西田工務店 フォトカラー山と緑  
ヘアーサロンむつみ HoLo家 宮窪鮮魚店 米澤酒店 リュックと帽子のヤナギハラ  
レディースイン わらびや 特別協賛 モーツァルト交響曲・全曲演奏会 実行委員会(松本市)

音楽祭  
協賛一覧

赤坂博幸 浅田一男 浅田千恵子 飯澤尚子 飯田浩子 石井由美子 石川幹夫 石田和代  
 泉つかさ 伊東景治 稲垣信昭 岩瀬精士郎 上田とよ子 上田優美 上田洋一 植松節子  
 植松 昌 魚谷八寿裕 宇田圭見子 扇原桂一 太田紘子 太田美恵子 大坪悦子 大橋聡司  
 大橋朋子 大橋晴子 岡島崇詔 荻野弘文 奥野知子 音頭万里子 学正典子 嘉田純二  
 上村孝子 川上弥生 川越妙子 川尻京子 川尻久美子 河田嘉代子 河田 稔 川本敏和  
 木川共代 北山陽彩 君島良子 國香悠子 黒部秀一 甲田克志 此川富美子 此川留美子  
 越 雄一 小島和子 小森晴美 小柳勇人 嵯峨拓也 坂井尚子 坂井志保 酒井優子  
 坂本利子 佐々木初子 佐藤義雄 鮫澤祐二 篠崎秀一 篠崎富美子 島倉敏夫 島瀬節子  
 島田恭宏 嶋田瑠美子 清水富美子 末松ふじ子 関井正春 立石勝美 高岡尚子 高田隆広  
 高野正規 高見玲子 高村代美子 瀧本由起子 竹内清美 竹内尚美 竹内美和子 竹内嘉章  
 竹津恵美子 立田和子 立石勝美 田中秀夫 田中 緑 塚本澄子 辻 武 辻 和夫  
 辻 登美子 寺島寿治 寺島紀子 寺田仁嗣 徳本しのぶ 所 桂子 戸張新太 富川和範  
 中島 巖 中島喜代美 中島美奈 中島 恵 中瀬真知子 中田勝代 中谷京子 中谷延之  
 中村慧美子 中村賢一 中村正子 西江嘉晃 西田 明 西田弘輝 西野正彬 二本松 守  
 能勢 実 能登恭子 能登靖子 野原 玲 野村幸正 羽柴進一 橋本正則 橋本美和子  
 長谷川悦子 場谷内 誠 八川 進 林 高好 原 朝子 原 恵美 坂東 剛 広川順子  
 福田茂信 福本明弘 藤野瞳子 二上きくゑ 二上 久 フルーリール 堀川恭子 前田ふさ  
 増井恵梨 松川幸代 松田佳正 松原 勇 松原康夫 松村美智代 水上一郎 水島悟司  
 道又 融 三井 香 三井真弓 宮窪浩康 宮本範子 武藤憲夫 村椿尚美 森 茂郎  
 森 眞由美 森 遼 森岡英一 柳原 彰 柳原和彦 山岸弘美 山口雅敬 山崎直四  
 山崎政子 山田雅子 山藤龟紘 山藤 稜 山本桂夫 山本正子 横山三千代 吉川和孝  
 吉田重次 米澤憲二郎 米澤直昭 米田泰弘 鷺見隆久 鷺見泰一 渡辺公三子

協力 富山県オーケストラ連盟 富山シティフィルハーモニー管弦楽団 黒部で第九を歌う会  
 SOS杉本音楽スタジオ 黒部峡谷鉄道株式会社  
 関西電力株式会社 黒部川電気記念館 竹田楽器 黒部市国際文化センター コラーレ  
 富山地方鉄道株式会社 桐朋オーケストラ・アカデミー 大原台そば研究会  
 宇奈月温泉自治振興会

主催 宇奈月モーツァルト音楽祭実行委員会

主管 黒部まちづくり協議会

共催 黒部市 黒部市宇奈月国際会館セレネ 北日本新聞社

後援 オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム 黒部市教育委員会

北日本放送株式会社 富山テレビ放送株式会社 株式会社チューリップテレビ  
 みらーれTV 株式会社新川コミュニティ放送

## モーツァルト色の空気—あとがきにかえて

音楽祭実行委員 中村賢一

こんなことがありました。街かどで演奏が始まると、椅子に腰かけていた人たちが、響きわたる音楽と演奏者の真剣な表情に惹きこまれ、ぐいぐい前のめりになっていきます。そして演奏者と客席が一体となった緊密な空間が生まれたのです。それは充足感に満ちた心地よいひとときでした。出演者は全員がプロではありませんから、もしかすると評論家的には取るに足りないかもしれませんが、しかしモーツァルトの曲を演奏する一生懸命さは、ある意味でプロにも負けていません。その姿に間近に接し、生の音楽の魅力に改めて気が付かされました。

こんなことがありました。演奏会場の手伝いに行く途中、知人と会いました。仕事上で関わりのある方ですが、今まで一度も音楽祭の話をしたことがありません。ところが立ち話をしてみると毎年子供を連れて富山から聴きに来ているというのです。何人かそういう人に会い、そういえば、仕事で立ち寄った先で、音楽祭を応援していますと、思いがけず声をかけられることが何回かあったことを思い出しました。音楽祭の浸透ぶりは私たちの想像以上かもしれません。

期間中、コンサートがあちこちで行われています。そこにはいろいろな出会いがあることでしょう。ガイドを片手に次の会場へ向かうお客様や、着飾った演奏者たちが街を歩き、お店で提供されるオリジナルのお菓子を含めて、街全体がモーツァルトの色をした幸せな空気に包まれているようです。このような音楽祭が実現できたのも、演奏者、スタッフ、街の人たち、そしてお客様の四者が互いに無言のうちに協力し合い、一から音楽祭を作り上げていったからだと思うのです。本誌において10年を振り返った時、改めてそれぞれが果たした小さな役割と、それが集って生まれた大きな成果を思い出すのです。





宇奈月モーツァルト音楽祭10周年記念誌

○編集委員 篠崎秀一 鷺見隆久  
中村賢一 上田洋一(編集委員長)

○発行日 2020年8月10日

○発行者 宇奈月モーツァルト音楽祭実行委員会  
富山県黒部市宇奈月温泉6-3  
TEL 0765-62-2000

○印刷 株式会社すがの印刷  
富山県黒部市若栗2630  
TEL 0765-54-0112

[不許複製]



Unazuki Mozart Musikfest